科目名（英）	ＩＴＩ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	唐澤淳
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1992年よりフリーランスローディーとして活動し、現在は起業してアーティスト及びクリエーターの育成やマネジメントなどを手掛ける						
授業の学習内容	Excelを中心に基本的な使い方から、現場で役立つ応用まで1年かけて身につけていく。 Microsoftの検定を取れるようにするのではなく、あくまでも業界でよく使われたり役立つ部分に特化して即戦力を目指してスキルを身に付けます。 現在の就職におけるパソコンスキルは必須となっており、またその求められるレベルは年々上がってきています。 テクノロジーの進化と最新のソフトウェアにも対応が求められるため、習得すべきスキルは多いのですが、エンタメ業界で働く上で最低限のスキルを効率よく習得できるように授業は進めていきます。						
到達目標	以下の3点が達成出来るようになることを目標としている。 （1）Excelの基本的な使い方（表のデザイン、計算式）を身につける。 （2）PowerPointの基本的な使い方を身につけプレゼンテーションスキルを上げる。 （3）Wordの基本的な使い方を身につける。						
評価方法と基準	1．実技試験（%）：50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	／	演習	ITリテラシーとPCの基礎知識を学ぶ	ITリテラシー理解度テストを行う
2	／	演習	【PowerPoint】PPの基本仕様、Word、Excelとの互換性を学ぶ	自分の好きなタレントを紹介するPP資料を3ページ以内で作成する
3	／	演習	【PowerPoint】プロフィールシート作りを行う	自分のプロフィールシートを完成させる
4	／	演習	【PowerPoint】プレゼン資料作りを行う	資料の完成をさせる
5	／	演習	【PowerPoint】プレゼン資料発表を行う	一年間の総復習を各自、漏らさずすること
6	／	演習	【Excel】罫線について、表の作り方を理解する。タイムテーブル縦作成する	表の構成方法を様々なパターンで考えてくる
7	／	演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの横軸が作成出来るようになる	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
8	／	演習	【Excel】表の作り方／タイムテーブルの縦軸が作成出来るようになる	授業内課題を45分以内で作成できるように練習する
9	／	演習	【Excel】表と計算式／動員集計表が作成出来るようになる	計算式の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
10	／	演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる	数式の公式の構成の仕組みを自分で試しながら理解してくる
11	／	演習	【Excel】表と計算式／売り上げ管理表を理解する。作成出来るようになる	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習
12	／	演習	【Excel】表と計算式／テストの平均点を理解し、作成出来るようになる	授業内課題を45分以内で作成できるように練習
13	／	演習	【Excel】表と計算式／予算表を作成出来るようになる	様々な数式の種類と構成を調べ、まとめてくる
14	／	演習	【Excel】図形描画／イベントシートとステージ簡易図面が作成出来るようになる	自分の家の部屋を使って、図面を作成する
15	／	演習	【Office】これまで学習したスキルをもって、新たな作品を製作する	
16	／	演習	【Illustrator】オブジェクトを使ったイラスト／ベジェ曲線の使い方を学ぶ	ベジェ曲線を使って、指定されたイラストを描いてくること
17	／	演習	【Illustrator】ロゴマーク作成／文字のアウトライン化、クリッピングマスクの使い方を学ぶ	指定されたロゴマークを、トレースしてくる
18	／	演習	【Photoshop】画像解像度、保存形式を学ぶ	人物を被写体とした写真を高解像度で数点撮影してくる
19	／	演習	【Photoshop】色調補正、カラーモード、レタッチの使い方を学ぶ	風景写真を撮り、覚えた技術で美しい作品を作る
20	／	演習	【Photoshop】切り抜きと合成の使い方を学ぶ	単色背景の前で撮影をしたものを使い、高度な合成作品を作る
21	／	演習	【Premiere】基本的な概念を習得する	動画編集の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
22	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通してレイヤー・タイトル・波形の使い方を習得する	動画編集の基本概念を復習し、自分で幾つか試して覚える
23	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して文字エフェクト・Fadeの使い方を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
24	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して画像・動画の挿入を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
25	／	演習	【Premiere他】Illustrator・photoshopとの連携を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
26	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通してレンダリングを習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
27	／	演習	【Premiere】Lyric Video製作を通して書き出し・仕上げを習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
28	／	演習	【Premiere】動画素材の撮影・デバイスから動画の取り込み・QT録画を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
29	／	演習	【Premiere】動画作成を課題に複数カメラからの編集を習得する	授業内課題を60分以内で作成出来るように練習する
30	／	試験	【Premiere】これまで学習したスキルをもって、新たな作品を製作する	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布

科目名	キャリア教育Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤　和樹
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBIsh等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マネー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価：30% 課題：70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のビューツールの作成	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	曼荼羅シート事前記入
8		演習	目標シート作成②	曼荼羅シート事前記入
9		演習	目標シート作成③	曼荼羅シート事前記入
10		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
11		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
12		演習	ホスピタリティについて①	JIKEIオンライン視聴
13		演習	ホスピタリティについて②	JIKEIオンライン視聴
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
28		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ミュージックセオリー Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習内容	五線譜の基本的なルール 音程 調号 コード導入						
到達目標	音程を正確に理解できる 調号を覚える						
評価方法と基準	1）定期テスト60% 2）授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽譜の仕組みを学ぶ	iPadテキストを読み込む
2		演習	半音と全音/メイジャースケールを学ぶ	半音と全音について鍵盤を用いて確認する
3		演習	音程を学ぶ①/変化記号	長短音程の学習、変化記号の確認する
4		演習	音程を学ぶ②	テキストの音程について読んでおく
5		演習	音程を学ぶ③	完全音程の学習する
6		演習	音程を学ぶ④	音程のまとめをする
7		演習	調号を学ぶ①	#系の覚え方を学習する
8		演習	調号を学ぶ②	♭系の覚え方を学習する
9		演習	調号を学ぶ③	マイナーキーでも分かるようにする
10		演習	調号を学ぶ④	調号のまとめを復習する
11		演習	テスト	これまでの内容を復習
12		演習	コードを学ぶ	トライアドの構成を理解する
13		演習	コードトーンを学ぶ	トライアドのコードトーンを理解する
14		演習	7thコードを学ぶ①	M7th 7thの違い、4音和音の導入をする
15		演習	7thコードを学ぶ②	使用頻度の高い種類から学習する
16		演習	7thコードを学ぶ③	7thコードのコードトーンを理解する
17		演習	ダイアトニックコードを学ぶ①	音階との関連を意識する
18		演習	ダイアトニックコードを学ぶ②	各コードの役割を覚える
19		演習	ダイアトニックコードを学ぶ③	各コードの役割を覚える
20		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ①	メイジャーダイアトニックの復習も行う
21		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ②	マイナーダイアトニックコードの学習する
22		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ③	Hm　Mm　のコード機能を復習する
23		演習	テスト	これまでの内容を復習する
24		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ①	ノンダイアトニックコードを学習する
25		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ②	セカンダリードミナントの解決について復習する
26		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ③	マイナーキーで考える
27		演習	代理ドミナントコードを学ぶ	代理ドミナントの考え方を復習する
28		演習	テンションノートを学ぶ①	メイジャーキーで学習する
29		演習	テンションノートを学ぶ②	マイナーキーで学習する
30		演習	テスト	これまでの内容を復習する
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イヤートレーニング Ⅰ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習内容	リズム打ち 視唱 聴音						
到達目標	音程、リズム、メロディーを声に出して読み取れる ハ長調の旋律聴音ができる						
評価方法と基準	1）定期試験60% 2）授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション～楽譜の読み書きを聴き取り、譜面におこす	楽譜の読み方、書き方を復習する
2		演習	3度までの音程、四分音符中心を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
3		演習	3度までの音程、全音符、二分音符を聴き取り、譜面におこす	休符に注意し復習する
4		演習	3度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	休符に注意しながら音程をとり復習する
5		演習	4度までの音程で聴音　八分音符を聴き取り、譜面におこす	4度音程を感じ取り復習する
6		演習	4度5度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	5度音程を感じ取り復習する　八分音符導入
7		演習	5度6度までの音程で聴音付点リズムを聴き取り、譜面におこす	6度音程を感じ取り復習する　八分休符
8		演習	6度7度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	7度音程を感じ取り復習する
9		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	オクターヴ跳躍を復習する　付点リズム導入
10		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
11		試験	テスト	これまでの総復習をする
12		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音程、休符を正しく把握するし復習する
13		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	付点リズムの休符を復習する
14		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音が切れるのか伸びるのか意識し復習する
15		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	ハ長調以外の長調を復習する
16		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	3音符を復習する
17		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	16分音符を復習する
18		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
19		演習	短調導入を聴き取り、譜面におこす	3種類の短調を復習する
20		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	変化する音を覚える
21		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	6,7番目の音に注意を復習する
22		演習	変化音導入を聴き取り、譜面におこす	変化音のとらえかたを復習する
23		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	調性外の音を感じ取りを復習する
24		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	半音変化を意識し復習する
25		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	経過的変化と刺繍的変化を復習する
26		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	これまでの内容を整理を復習する
27		演習	2声課題を聴き取り、譜面におこす	ヘ音記号　を復習する
28		演習	聴き取り方について学ぶ	短い課題を復習する
29		演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
30		演習	テスト	これまでの総復習をする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	音楽史Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	佐藤晃彦
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する。						
授業の学習内容	職業として音楽と関わっていくための基礎知識を学び、これまでどのようにして音楽が伝わり、楽しまれてきたのかを理解する。またその背景にある社会や政治の変化、録音技術や楽器の変化を知り、次の時代の音楽を創作していくための想像力を養う。						
到達目標	自分のお気に入りの音楽に耳を傾けるばかりではなく、様々な時代、ジャンルの音楽を知ることによって視野を広げる。　音の表現方法について、アイディアによって達成出来る世界が広がり、新たな音楽を創造する。						
評価方法と基準	授業内評価40%　定期試験 30%　レポート提出 30% ポップスの歴史の概略を説明することができる。楽曲を聴いて、時代やルーツを説明することが出来る。みずから進んで楽曲の構造や文化的意味について探求心を持つことができる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	講義	プロテストソングとして歌われたヘイジュードについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
2	／	講義	「You Raise Me Up」「Londonderry Air」「Danny Boy」を中心にそれぞれの音楽に物語や歴史があることを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
3	／	講義	「朝日のあたる家」の伝承/口承からフォーク、ロックへの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
4	／	講義	フレンチポップスの影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
5	／	講義	ロック音楽の出発点としてのロックンロールの背景について説明を行い、特にリズム＆ブルース（R＆B）という言葉について学ぶ。	感想文、関連する楽曲を探す
6	／	講義	ソウルの誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
7	／	講義	ギターインストゥルメンタル/日本のエレキブームについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
8	／	講義	スキッフルとビートルズ誕生について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
9	／	講義	ビートルズの米進出とブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
10	／	講義	ブリティッシュインヴェイジョンについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
11	／	講義	フォークとフォークロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
12	／	講義	R&Rの死とサーフミュージック、ロックンロール英国上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
13	／	講義	ビートルズ上陸以前の日本のポップスについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
14	／	講義	ビートルズとブリティッシュビートについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
15	／	試験		
16	／	講義	ベンチャーズとビートルズの日本上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
17	／	講義	フォークソングとビートルズのアメリカ上陸について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
18	／	講義	モータウン、アトランティックを中心に1960年代に開花したソウル・ミュージック・シーンについて学ぶる	感想文、関連する楽曲を探す
19	／	講義	ウッドストックを中心に1960年代後半のアメリカを知る。	感想文、関連する楽曲を探す
20	／	講義	カレッジから発達したフォークと反抗の証としてのフォークについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
21	／	講義	ビートルズ、サイモン＆ガーファンクルの解散、ジミ・ヘンドリックス、ジャニス・ジョプリン死亡以降の欧米のロックについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
22	／	講義	プログレッシヴ・ロック　70年代の作品を中心に他ジャンルをクロスオーバーさせた音楽手段について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
23	／	講義	日本のロック誕生（1）輸入音楽であったロックを日本独特の解釈で創作した初期作品について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
24	／	講義	日本のロック誕生（2）日本語ロック論争について考え、誕生した日本語ロックのノウハウが現代にもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
25	／	講義	ファンクとソウルのディスコ化、その波が白人音楽へもたらした影響について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
26	／	講義	アダルト指向を強めた時代背景とジャズ界とコラボレートを始めたロックの時代背景について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
27	／	講義	グラムの特徴となった、男性の化粧、両性具有的イメージ、虚構性、耽美性などの広がりについて学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
28	／	講義	テクノポップの誕生電子楽器の変化を中心にプログレからテクノへの変化について学ぶ。	感想文、関連する楽曲を探す
29	／	講義	ヒップホップが生まれた社会背景、現代のR&B、ゴスペルなど黒人音楽までの変化について学ぶ	感想文、関連する楽曲を探す
30	／	試験		
準備学習　時間外学習			授業内で取り上げた楽曲、アーティストに関連するものを探る	

【使用教科書・教材・参考書】 ロック＆ポップス史 洋楽編、邦楽編、CD、DVD

科目名（英）	著作権Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	及川有正
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	作る側　スタッフ共通のエンターテイメントの基盤にある著作権＝アーティストの権利を理解してもらう。また日々変化している状況を踏まえ、ネット中心のビビッドな話題を通して、著作権の理解を深める。各専攻によって立場の違いはあるが、どのように著作権の知識が役立つかを具体的に示す。						
到達目標	アーティスト（作曲、ダンス、アクター、プロミ）には、自分達の権利と制作していく上での注意事項を理解してもらう。コンスタには、自分の関わる仕事の根本にある出演者側の権利を理解してもらう。ネットのリテラシーを高める。（使う側の注意事項、ネットでの権利の理解）　また音楽関係のトピックを正しく理解できるよう解説していく。最終的に自分たちが、アーティストとして契約する際の知識を身につけてもらう。						
評価方法と基準	①　試験　50%　②　用語プリント　レポート　50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	なぜ著作権の知識が必要かを学ぶ	教科書第1章を予習・復習する
2	／	演習	知的財産権についてを学ぶ	教科書第2章を予習・復習する
3	／	演習	アーティストの創作活動　DVDについて学ぶ	教科書第3章を予習・復習する
4	／	演習	音楽の置かれている現状を学ぶ	教科書第4章を予習・復習する
5	／	演習	著作権法を学ぶ	教科書第5章を予習・復習する
6	／	演習	著作物と著作権の関係について学ぶ	教科書第6章を予習・復習する
7	／	演習	著作隣接権について学ぶ	教科書第7章を予習・復習する
8	／	演習	著作権条約を学ぶ	教科書第8章を予習・復習する
9	／	演習	WIPO新条約条約を学ぶ	教科書第9章を予習・復習する
10	／	演習	著作権管理について学ぶ	教科書第10章を予習・復習する
11	／	演習	音楽著作権協会を学ぶ①	教科書第11章を予習・復習する
12	／	演習	音楽著作権協会を学ぶ②	教科書第12章を予習・復習する
13	／	演習	音楽著作物の利用形態 ボカロPの新しい著作権について学ぶ	教科書第13章を予習・復習する
14	／	演習	音楽著作物の利用形態 ネットでの著作権について学ぶ	教科書第14章を予習・復習する
15	／	演習	音楽著作物の利用形態 様々な音源を聴く	教科書第15章を予習・復習する
16	／	演習	まとめ　試験	
17	／	演習	著作権侵害について学ぶ	教科書第16章を予習・復習する
18	／	演習	音楽出版社について学ぶ	教科書第17章を予習・復習する
19	／	演習	著作う県の制限について学ぶ	教科書第18章を予習・復習する
20	／	演習	著作権・著作隣接権について学ぶ	教科書第19章を予習・復習する
21	／	演習	音楽著作物の委嘱について学ぶ	教科書第20章を予習・復習する
22	／	演習	学生と音楽著作権について学ぶ	教科書第21章を予習・復習する
23	／	演習	音楽著作権判例について学ぶ	教科書第22章を予習・復習する
24	／	演習	音楽業界の新しい動きについて学ぶ	教科書全体を読み返し復習する
25	／	演習	アーティストとスタッフについて学ぶ	教科書全体を読み返し復習する
26	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
27	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
28	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
29	／	演習	ワークショップ・レポート作成	オリコンランキングTOP50からアーティスト・楽曲を選択しレポートする
30	／	試験	まとめ　試験	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 音楽著作権、ORIGINAL CONFIDENCE

科目名	グローバルコミュニケーション Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	フィリップ ジョージ
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2015年ミズーリエ科大を卒業。2016年以降英語、物理、システムエンジニアとして外資企業で従事。						
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening（リスニング力）②Writing （筆記力）③Reading（読解力）④Speaking（会話力）を身につける。						
到達目標	よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。会話相手がゆっくり、はっきりと話して、サポートをしてくれるなら簡単なやり取りをすることができる。						
評価方法と基準	定期試験(全4回） 100% CEFR Level A1						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	Be 動詞(am, are)の肯定形、否定形を学ぶ/出身地をたずねる表現を学ぶ 個人的な情報をたずねる・説明する表現を学ぶ 疑問代名詞[What]の使い方を学ぶ	教科書の予習・復習
2		演習	/ɹ/ と /l/の発音を学ぶ 個人的な経歴等のプロフィールを読む・書く大文字、ピリオドの使い方を学ぶ	教科書の予習・復習
3		演習	「はい」「いいえ」で答える質問における [Is / Are]の使い方を学ぶ 家族について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
4		演習	[Is / Are]の否定形を学ぶ友達や家族について話す 年齢、誕生日に関する表現を学ぶ言い直すに関する言葉を学ぶ	教科書の予習・復習
5		演習	友達の画像にスレッドを入れたり、書かれている情報を読みとる 場所に関する前置詞を学ぶ プレゼンテーション	教科書の予習・復習
6		演習	所有形容詞（'s & s'）を学ぶ家について話す [it is]の使い方を学ぶ家具について話す	教科書の予習・復習
7		演習	飲み物・スナックをお勧めする/もらう表現を学ぶ分からない単語について質問する ホームシェアについてのメールを読む、書く	教科書の予習・復習
8		演習	「現在形」陳述文を学ぶ (I, you, we)好きな事について話す 定期試験/振り返り プレゼンテーション	教科書の予習・復習
9		演習	「現在形」疑問文を学ぶ (I, you, we)技術の使い方を説明する 連絡を取り合う方法について話す相手の話を聞いていることを示す	教科書の予習・復習
10		演習	商品のレビューを読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
11		演習	「現在形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ (he, she they)平日、週末のアクティビティについて話す 「現在形」疑問文（yes/no / WH-question)を学ぶ時間・ルーティンについて話す	教科書の予習・復習
12		演習	頻度副詞を使い、質問に短く答える賛成を表す表現を学ぶ 共通点を表す表現を学ぶ 日常のアクティビティについてのレポートを読む、書く	教科書の予習・復習
13		演習	[There (is, are), (a lot, some no)]の使い方を学ぶ町にある場所について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
14		演習	「可算名詞・不可算名詞」を学ぶ近所にある自然について話す 道順について尋ねる、また教える際に使う表現を学ぶ情報を確認する	教科書の予習・復習
15		演習	場所についての特徴について読む、書く 定期試験/振り返り プレゼンテーション	教科書の予習・復習
16		演習	「現在進行形」陳述文（肯定形、否定形）を学ぶ自宅周辺の生活について話す 「現在進行形」疑問文を学ぶ旅行について話す	教科書の予習・復習
17		演習	[-ing]の発音を学ぶ 電話でニュースを伝える 最近の出来事についてのブログ記事を読む、書く	教科書の予習・復習
18		演習	[Can / Can't]（能力）を使う陳述文・疑問文を学ぶ自身のスキルや能力について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
19		演習	[Can / Can't]（可能性）を使う陳述文・疑問文を学ぶ 職場・学校において、できること・できないことについて話す 自分の意見を述べる/自分はある仕事の適任者であることを説明す	教科書の予習・復習
20		演習	自分の意見について、オンラインでコメントを読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
21		演習	[This / These]の使い方を学ぶ休暇、旅行について話す [like to, want to, need to, have to]の使い方を学ぶ；使い分けがわかる旅行計画を立てる	教科書の予習・復習
22		演習	お店で情報を確認する/もう一回言ってもらえる表現を学ぶ 旅行ガイドを読む、また場所の説明を書く	教科書の予習・復習
23		演習	[be going to]（陳述文）の使い方を学ぶ 週末に向けたアウトドア活動の計画について話す/プレゼンテーション	教科書の予習・復習
24		演習	[be going to]（疑問文）の使い方を学ぶ旅行の時に着る服装について話す あることをやってはいけない理由を説明する	教科書の予習・復習
25		演習	オンラインでの招待状を読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
26		演習	「過去形」(was / were)の陳述文を学ぶ過去にあった人、ことについて話す 「過去形」(was / were)の疑問文を学ぶ色、記憶について話す	教科書の予習・復習
27		演習	次の発言を考えるときに使う代用語を学ぶ映画、俳優について話す 思い出の品についての記事やメールを読む、書く	教科書の予習・復習
28		演習	「過去形」の陳述文を練習するスナック、軽食について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
29		演習	「過去形」の疑問文を練習する レストランでの食事について話す [so / really]（強調する）の使い方を学ぶ食べ物・飲み物を注文する	教科書の予習・復習
30		演習	レストランのレビューを読む、書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名（英）	パフォーマンスⅠ	必修選択	必修選択	年次	1年	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by me の最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	パフォーマンスプロジェクトⅠ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	及川愛
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	演習	総時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校渋谷のゴスペル研究科を卒業後、音楽を学び続け、2023年度より、本校にて講師を勤める。						
授業の学習内容	この授業ではミュージシャンと一緒に演奏できるいい機会なので、カラオケのように淡々と1人で歌うのではなく、ミュージシャンやコーラスとアイコンタクトなどを取りつつ、一緒に演奏する楽しさを身につけてほしい。 ヴォーカルは歌だけが上手くても響かないので、パフォーマンス面も向上させていきたい。自分がどのように輝けるか、見ているお客様にどのように見えているかを意識しながらステージングを考えられるようになってほしい。						
到達目標	周り(バンドやコーラス)とアイコンタクトを取りつつ歌うことができるようになる。 歌には100%自信を持った状態で、ステージングも100%の力を発揮して出来るようになる。						
評価方法と基準	出席日数50%、授業態度(テストも含め)50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1	／	演習	機材の扱い説明、課題曲の練習	課題曲をアナライズ、練習
2	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
3	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
4	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
5	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
6	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
7	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
8	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
9	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
10	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
11	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
12	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
13	／	演習	Vocal Show Cas　レベルチェック	
14	／	演習	Vocal Show Case発表	
15	／	演習	前期振り返り	
16	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
17	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
18	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
19	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
20	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
21	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
22	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
23	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
24	／	演習	テスト	課題曲をアナライズ、練習
25	／	演習	課題曲の練習	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる
26	／	演習	課題曲の進み具合チェック(練習) バンドと合わせ	メイン、コーラスのメロディを完璧にしてくる パフォーマンス、衣装を考えてくる
27	／	演習	テスト	Weareに向けての練習
28	／	演習	Weare　レベルチェック	
29	／	演習	Weare発表	
30	／	演習	後期振り返り	
準備学習　時間外学習			準備学習　時間外学習の方向性など	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンポジションⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	中村　結花
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、アーティストへの楽曲提供や各種企業CM音楽などの制作を行う						
授業の学習内容	Cubase pro11を用いて、DTMの基礎知識から操作方法、打ち込みスキルの習得						
到達目標	基本的なCubase pro11の使い方をマスターし、打ち込みから簡単なミックスまでできるようになる						
評価方法と基準	授業内評価50%、授業態度及び総合的な理解度50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	DTMとは、DAWとは何か	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
2		演習	基本的なショートカットを覚える	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
3		演習	ドラムやベースの打ち込み	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
4		演習	基本的なCCについて学ぶ	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
5		演習	Loopブラウザの活用	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
6		演習	オーディオの様々な編集	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
7		演習	各種トラックの活用方法	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
8		演習	レコーディング（モノラル・ステレオ、定位について）	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
9		演習	AudioWarpの使い方	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
10		演習	デジタルの概念について	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
11		演習	ミックスダウンとは	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
12		演習	エフェクトプラグインについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
13		演習	楽曲制作①	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
14		演習	楽曲制作②	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
15		演習	楽曲制作③	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
16		演習	作曲と編曲の違いについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
17		演習	スケールとキーについて	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
18		演習	ダイアトニックコードとノンダイアトニックコード	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
19		演習	代理コード	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
20		演習	メロディ作成について①	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
21		演習	メロディ作成について②	様々な音楽を制作する側の観点から聞いてみる
22		演習	オリジナル楽曲の制作①	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
23		演習	オリジナル楽曲の制作②	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
24		演習	オリジナル楽曲の制作③	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
25		演習	オリジナル楽曲の制作④	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
26		演習	オリジナル楽曲の制作⑤	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
27		演習	オリジナル楽曲の制作⑥	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
28		演習	オリジナル楽曲の制作⑦	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
29		演習	オリジナル楽曲の制作⑧	オリジナル楽曲制作に向けてイメージ案まとめ
30		演習	視聴会	視聴データの整理
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ステージ／イベントⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤晃彦
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の概要と進行を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		演習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		演習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		演習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		演習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		演習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		演習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		演習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		演習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		演習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		演習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
14		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
15		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
16		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
19		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
20		演習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
21		演習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
22		演習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		演習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		演習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
25		演習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		演習	日常のトレーニングについて③	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		演習	舞台機構演習①	タイムテーブル・平面図を理解する
28		演習	舞台機構演習②	タイムテーブル・平面図を理解する
29		演習	舞台機構演習③	タイムテーブル・平面図を理解する
30		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ／イベントプロジェクトⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	齋藤　早春
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、THE SOULMATICSで活動中。コンサート、ミュージカル等多岐にわたって活動中。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	出席率70、授業態度30						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
16		演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
17		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
18		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
19		演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
20		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
21		演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
22		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
23		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
24		演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
25		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
26		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
27		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
28		演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
29		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
30		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台デザインⅠ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	板橋　香明
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習内容	作曲(主にアレンジ)を進める上で、同時にミックスの観点からもアプローチする力を養う 自己プロデュース能力を向上させオールインワンでの完結できる実力をつける						
到達目標	ゼロから完パケ(作曲から納品、又はリリース)までの工程を、個人・グループで完結させる						
評価方法と基準	授業態度(積極性、制作能力) 課題提出率						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽曲制作時に意識すること	楽典予習
2		演習	メロディへのコード付①	楽典予習
3		演習	メロディへのコード付②	楽典予習
4		演習	裏メロの作り方	楽典予習
5		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス①	楽典予習
6		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス②	楽典予習
7		演習	ピアノアレンジ・ミックス①	楽典予習
8		演習	ピアノアレンジ・ミックス②	楽典予習
9		演習	リズムアレンジ・ミックス①	楽典予習
10		演習	リズムアレンジ・ミックス②	楽典予習
11		演習	ベースアレンジ・ミックス①	楽典予習
12		演習	ベースアレンジ・ミックス②	楽典予習
13		演習	楽曲制作ワークショップ①	楽典予習
14		演習	楽曲制作ワークショップ②	楽典予習
15		演習	楽曲制作ワークショップ③	楽典予習
16		演習	ギターアレンジ・ミックス①	楽典予習
17		演習	ギターアレンジ・ミックス②	楽典予習
18		演習	ギターアレンジ・ミックス③	楽典予習
19		演習	Fx・サンプル活用法・ミックス法	楽典予習
20		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス①□	楽典予習
21		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス②□	楽典予習
22		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス③□	楽典予習
23		演習	ストリングスアレンジ・ミックス①	楽典予習
24		演習	ストリングスアレンジ・ミックス②	楽典予習
25		演習	ストリングスアレンジ・ミックス③	楽典予習
26		演習	ストリングスアレンジ・ミックス④	楽典予習
27		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
28		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
29		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
30		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	デジタルファンデーション1	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	横野康平
学科・コース	パフォーミングアーツ科	授業 形態	講義演習	設時間 （単位）	120 8		
教員の略歴	【実務経験】J-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。講師活動は10年以上。						
授業の学習内容	基本的な技術力、プログラミングにおける音楽的表現、サウンドデザイン力の向上を目指し、作品のさらなるクオリティアップを目指します。						
到達目標	題材とされたジャンルや楽曲制作テクニックを学び、それを自身のオリジナル作品に反映できるようになる						
評価方法と基準	実技試験 50%　筆記試験 0%　課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習（学習課題）
1		演習	各DAW Strings Expression,Articulationの入力方法とコツを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
2		演習	Dance Pop曲を使ってオートメーションを使えるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
3		演習	Plucked Synth Leadの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
4		演習	IPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
5		演習	LofiBeatのサウンドデザインを学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
6		演習	vocal素材を使ってVocalCutUpの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
7		演習	Dollphinボイスの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
8		演習	生楽器とシンセのレイヤーを使えるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
9		演習	FutureBassの作り方（シンセサイザー編）。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
10		演習	GlowlBassの作り方。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
11		演習	ColourBassの作り方。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
12		演習	1コーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
13		演習	1コーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
14		演習	1コーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
15		演習	振り返り	楽曲準備
16		演習	ファンキーなベースを打ち込みDiscoトラックを作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
17		演習	2Stepのビートの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
18		演習	シンセポップの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
19		演習	KpopDeepHouseの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
20		演習	NewJackSwing曲を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
21		演習	ガールズクラッシュ楽曲を用いて力強いPopsを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
22		演習	ーに使われているトランス曲を使って早いフレーズを学び作れるようにな	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
23		演習	ユーロビートの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
24		演習	スクリーチシンセの作り方を習得する。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
25		演習	FMシンセを使って簡単なBassHouseを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
26		演習	HyperPopの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく。
27		演習	フルコーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
28		演習	フルコーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
29		演習	フルコーラスラフデモ制作テスト。	配布データなどを使って制作アイディアを用意しておく。
30		演習	1年間の振り返り	楽曲準備
準備学習　時間外学習			準備学習　時間外学習の方向性など	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	マネジメントⅡ	必修選択	選択	年次	1	担当教員	菱沼　勇二
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイディアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1　新規事業とは何か？説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「インプット」と「アウトプット」説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
5		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
6		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
7		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
8		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
9		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
10		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マネジメントプロジェクト1	必修選択	選択	年次	1	担当教員	菱沼　勇二
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイディアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1　新規事業とは何か？説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「インプット」と「アウトプット」説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
5		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
6		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
7		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
8		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
9		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
10		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	進級制作Ⅰ	必修選択	必修	年次	1.年	担当教員	深井　誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	300 20	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	2年生のオリジナルアルバム制作のグループメンバーとして制作作業を共同で行う 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	2年目に行う各自の各品制作に向けて、プロセス、スケジュール管理、クオリティチェックなど与えられた期間内に〆切を意識した作業工程を身につける						
評価方法と基準	1．授業内評価（%）:50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布

科目名（英）	ITⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	黒瀬理知
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	Drummerの傍ら、チラシ等紙媒体Design、ホームページ運営、動画編集やシステム作りをも行う。						
授業の学習内容	仕事を行う上で必要とされるスキルがあり、ときとしてマナーやスキルにより仕事の信用を落とす事がある。昨今PCスキルが圧倒的に不足してる人がおおく、発注受注を行う段階で必要な機器、及びスキルがない為仕事が滞る事象が見受けられる。主たる仕事を行う場合でも副次的な仕事を行う場合でも、企業や対個人と仕事をするにもある程度のスキルが必要である。PC離れが進んでる今こそPCに触れる回数を増やし、仕事のやり取りをスムーズに行えるように、また仕事の幅を広げれるようになってほしい。						
到達目標	音楽に携わる人として必要なPCスキル(データでの 歌詞・セット図作成・履歴書・プロフィール(活動経 歴書)制作)やビジネスメール、基礎的な音声、動画の制作・編集スキルを学んでほしい。						
評価方法と基準	出席日数50% テスト（課題提出）50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	ITリテラシーの基礎知識を学ぶ	ITリテラシー理解度テストを行う
2	／	演習	自己紹介・PCの必要性、MACの使い方	事前にPCまたはIPADをセットアップ
3	／	演習	ラインドタッチ、プロユースのアプリケーションについ	ブラインドタッチの練習
4	／	演習	拡張子、送付方法、バックアップ	日頃つかっているデータに注視
5	／	演習	ワード系ソフトの使用方法とメール送付	ビジネスマナーを意識
6	／	演習	図形の書き方、セット図の作成、送付	生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
7	／	演習		生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
8	／	演習	表計算ソフトの使い方（計算、関数）	生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
9	／	演習	履歴書の作成、送付	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
10	／	演習	請求書、領収書の作成	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
11	／	演習	請求書発行、領収書発行を擬似業務で行う	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
12	／	演習	譜面作成ソフトの使い方	譜面作成について既存の譜面を見て予習
13	／	演習	譜面を作成し、PDF化したものを提出	譜面作成について既存の譜面を見て予習
14	／	演習	譜面を作成し、PDF化したものを提出	譜面作成について既存の譜面を見て予習
15	／	演習	テスト	
16	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
17	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
18	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
19	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
20	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
21	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
22	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
23	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
24	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
25	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
26	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
27	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
28	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
29	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
30	／	試験	テスト	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布

科目名	キャリア教育Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	佐藤　和樹
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBIsh等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マネー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価：30% 課題：70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のビューツールの作成	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	曼荼羅シート事前記入
8		演習	目標シート作成②	曼荼羅シート事前記入
9		演習	目標シート作成③	曼荼羅シート事前記入
10		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
11		演習	スケジュール管理・ビジネスメール	年間スケジュールの事前確認
12		演習	ホスピタリティについて①	JIKEIオンライン視聴
13		演習	ホスピタリティについて②	JIKEIオンライン視聴
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①主体性について	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②働きかけ力について	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
28		演習	社会人基礎力③実行力	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ミュージックセオリーⅡ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習内容	五線譜の基本的なルール 音程 調号 コード導入						
到達目標	音程を正確に理解できる 調号を覚える						
評価方法と基準	1）定期テスト60% 2）授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽譜の仕組みを学ぶ	iPadテキストを読み込む
2		演習	半音と全音/メイジャースケールを学ぶ	半音と全音について鍵盤を用いて確認する
3		演習	音程を学ぶ①/変化記号	長短音程の学習、変化記号の確認する
4		演習	音程を学ぶ②	テキストの音程について読んでおく
5		演習	音程を学ぶ③	完全音程の学習する
6		演習	音程を学ぶ④	音程のまとめをする
7		演習	調号を学ぶ①	#系の覚え方を学習する
8		演習	調号を学ぶ②	♭系の覚え方を学習する
9		演習	調号を学ぶ③	マイナーキーでも分かるようにする
10		演習	調号を学ぶ④	調号のまとめを復習する
11		演習	テスト	これまでの内容を復習
12		演習	コードを学ぶ	トライアドの構成を理解する
13		演習	コードトーンを学ぶ	トライアドのコードトーンを理解する
14		演習	7thコードを学ぶ①	M7th 7thの違い、4音和音の導入をする
15		演習	7thコードを学ぶ②	使用頻度の高い種類から学習する
16		演習	7thコードを学ぶ③	7thコードのコードトーンを理解する
17		演習	ダイアトニックコードを学ぶ①	音階との関連を意識する
18		演習	ダイアトニックコードを学ぶ②	各コードの役割を覚える
19		演習	ダイアトニックコードを学ぶ③	各コードの役割を覚える
20		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ①	メイジャーダイアトニックの復習も行う
21		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ②	マイナーダイアトニックコードの学習する
22		演習	マイナーダイアトニックコードを学ぶ③	Hm　Mm　のコード機能を復習する
23		演習	テスト	これまでの内容を復習する
24		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ①	ノンダイアトニックコードを学習する
25		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ②	セカンダリードミナントの解決について復習する
26		演習	セカンダリードミナントコードを学ぶ③	マイナーキーで考える
27		演習	代理ドミナントコードを学ぶ	代理ドミナントの考え方を復習する
28		演習	テンションノートを学ぶ①	メイジャーキーで学習する
29		演習	テンションノートを学ぶ②	マイナーキーで学習する
30		演習	テスト	これまでの内容を復習する
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	イヤートレーニングⅡ	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	今藤雅博
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2007年よりミュージシャンとしてアーティストの演奏サポート、セッション、作編曲で活動						
授業の学習内容	リズム打ち 視唱 聴音						
到達目標	音程、リズム、メロディーを声に出して読み取れる ハ長調の旋律聴音ができる						
評価方法と基準	1）定期試験60% 2）授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	オリエンテーション～楽譜の読み書きを聴き取り、譜面におこす	楽譜の読み方、書き方を復習する
2		演習	3度までの音程、四分音符中心を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
3		演習	3度までの音程、全音符、二分音符を聴き取り、譜面におこす	休符に注意し復習する
4		演習	3度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	休符に注意しながら音程をとり復習する
5		演習	4度までの音程で聴音　八分音符を聴き取り、譜面におこす	4度音程を感じ取り復習する
6		演習	4度5度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	5度音程を感じ取り復習する　八分音符導入
7		演習	5度6度までの音程で聴音付点リズムを聴き取り、譜面におこす	6度音程を感じ取り復習する　八分休符
8		演習	6度7度までの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	7度音程を感じ取り復習する
9		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	オクターヴ跳躍を復習する　付点リズム導入
10		演習	1オクターヴまでの音程で聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
11		試験	テスト	これまでの総復習をする
12		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音程、休符を正しく把握するし復習する
13		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	付点リズムの休符を復習する
14		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	音が切れるのか伸びるのか意識し復習する
15		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	ハ長調以外の長調を復習する
16		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	3音符を復習する
17		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	16分音符を復習する
18		演習	単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	2度音程との違いを意識し復習する
19		演習	短調導入を聴き取り、譜面におこす	3種類の短調を復習する
20		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	変化する音を覚える
21		演習	短調による単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	6,7番目の音に注意を復習する
22		演習	変化音導入を聴き取り、譜面におこす	変化音のとらえかたを復習する
23		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	調性外の音を感じ取りを復習する
24		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	半音変化を意識し復習する
25		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	経過的変化と刺繍的変化を復習する
26		演習	変化音を含む単旋律聴音を聴き取り、譜面におこす	これまでの内容を整理を復習する
27		演習	2声課題を聴き取り、譜面におこす	ヘ音記号　を復習する
28		演習	聴き取り方について学ぶ	短い課題を復習する
29		演習	単旋律聴音と2声聴音を聴き取り、譜面におこす	苦手な跳躍があればよく歌う事
30		演習	テスト	これまでの総復習をする
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	音楽史Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	及川有正
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	職業として音楽と関わっていくための基礎知識を学び、これまでどのようにして音楽が伝わり、楽しまれてきたのかを理解する。またその背景にある社会や政治の変化、録音技術や楽器の変化を知り、次の時代の音楽を創作していくための想像力を養う。						
到達目標	自分のお気に入りの音楽に耳を傾けるばかりではなく、様々な時代、ジャンルの音楽を知ることによって視野を広げる。　音の表現方法について、アイディアによって達成出来る世界が広がり、新たな音楽を創造する。						
評価方法と基準	授業内評価40%　定期試験 30%　レポート提出 30% ポップスの歴史の概略を説明することができる。楽曲を聴いて、時代やルーツを説明することが出来る。みずから進んで楽曲の構造や文化的意味について探求心を持つことができる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	講義	アンケート、音楽史概観①	感想文、関連する楽曲を探す
2	／	講義	音楽史概観②	感想文、関連する楽曲を探す
3	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　①	感想文、関連する楽曲を探す
4	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　②	感想文、関連する楽曲を探す
5	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　③	感想文、関連する楽曲を探す
6	／	講義	ロックンロールの誕生	感想文、関連する楽曲を探す
7	／	講義	ロックの歴史①	感想文、関連する楽曲を探す
8	／	講義	ロックの歴史②	感想文、関連する楽曲を探す
9	／	講義	ロックの歴史③	感想文、関連する楽曲を探す
10	／	講義	これまでのまとめと小論文	感想文、関連する楽曲を探す
11	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
12	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
13	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
14	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
15	／	試験		
16	／	講義	日本のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
17	／	講義	日本のポピュラーミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
18	／	講義	日本のポピュラーミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
19	／	講義	日本のポピュラーミュージック④	感想文、関連する楽曲を探す
20	／	講義	日本のロックミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
21	／	講義	日本のロックミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
22	／	講義	日本のロックミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
23	／	講義	日本のソウルミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
24	／	講義	日本のソウルミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
25	／	講義	日本のソウルミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
26	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
27	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
28	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
29	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
30	／	試験		
準備学習　時間外学習		授業内で取り上げた楽曲、アーティストに関連するものを探る		
【使用教科書・教材・参考書】 ロック＆ポップス史 洋楽編、邦楽編、CD、DVD				

科目名（英）	著作権Ⅱ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	及川有正
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	作る側　スタッフ共通のエンターテイメントの基盤にある著作権＝アーティストの権利を理解してもらう。また日々変化している状況を踏まえ、ネット中心のビビッドな話題を通して、著作権の理解を深める。各専攻によって立場の違いはあるが、どのように著作権の知識が役立つかを具体的に示す。						
到達目標	アーティスト（作曲、ダンス、アクター、プロミ）には、自分達の権利と制作していく上での注意事項を理解してもらう。コンスタには、自分の関わる仕事の根本にある出演者側の権利を理解してもらう。ネットのリテラシーを高める。（使う側の注意事項、ネットでの権利の理解）　また音楽関係のトピックを正しく理解できるよう解説していく。最終的に自分たちが、アーティストとして契約する際の知識を身につけてもらう。						
評価方法と基準	①　試験　50%　②　用語プリント　レポート　50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	JASRACについて学ぶ	プリント確認
2	／	演習	JASRACについて学ぶ	プリント確認
3	／	演習	著作権とビジネス	プリント確認
4	／	演習	出版権というビジネス利用	プリント確認
5	／	演習	出版権というビジネス利用	プリント確認
6	／	演習	デジタル、ネット時代の著作権	プリント確認
7	／	演習	デジタル、ネット時代の著作権	プリント確認
8	／	演習	新手の手法に法が追い付かない現状、そして課題	プリント確認
9	／	演習	新手の手法に法が追い付かない現状、そして課題	プリント確認
10	／	演習	課題が多い著作権の“これから”	プリント確認
11	／	演習	課題が多い著作権の“これから”	プリント確認
12	／	演習	Webメディア制作に関連する著作権	プリント確認
13	／	演習	Webメディア制作に関連する著作権	プリント確認
14	／	演習	振り返り	プリント確認
15	／	演習	まとめ　試験	
16	／	演習	実演家の権利とは？	プリント確認
17	／	演習	著作権を集中管理する団体、JASRAC	プリント確認
18	／	演習	権利の集中管理	プリント確認
19	／	演習	JASRACは代理人ではなく権利者	プリント確認
20	／	演習	日本と仕組みが違う外国曲の著作権管理	プリント確認
21	／	演習	日本と仕組みが違う外国曲の著作権管理	プリント確認
22	／	演習	学生と音楽著作権について学ぶ	プリント確認
23	／	演習	音楽著作権判例について学ぶ	プリント確認
24	／	演習	音楽業界の新しい動きについて学ぶ	プリント確認
25	／	演習	アーティストとスタッフについて学ぶ	プリント確認
26	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
27	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
28	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
29	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
30	／	試験	まとめ　試験	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 音楽著作権、ORIGINAL CONFIDENCE

科目名	グローバルコミュニケーションⅡ	必修選択	必修	年次	2	担当教員	フィリップ ジョージ
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2015年ミズーリエ科大を卒業。2016年以降英語、物理、システムエンジニアとして外資企業で従事。						
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening（リスニング力）②Writing （筆記力）③Reading（読解力）④Speaking（会話力）を身につける。						
到達目標	英語の4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(全4回） 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	所有形容詞を学ぶ 知人・家族について話す 所有代名詞(whose)を学ぶ	教科書の予習・復習
2		演習	話の切り出し方を学ぶ 会話を始める表現を学ぶ 驚きの気持ちを表す表現及び関心を示す表現を学ぶ	教科書の予習・復習
3		演習	習慣・ルーティンについて質問する [Wh-question]を練習する プレゼンテーション	教科書の予習・復習
4		演習	名詞の代わりの[this, that, these, those]の使い方を学ぶ職場について話す 繰り返しを求める表現を学ぶ	教科書の予習・復習
5		演習	ポッドキャストについての意見を読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
6		演習	「現在進行形」を学ぶ・復習する今していることについて話す 「現在進行形」「単純現在形」を練習するスポーツ、	教科書の予習・復習
7		演習	情報を得るため、必要な表現を学ぶ知らない情報をチェックする サービス業界の会社へのメッセージを読む、書く	教科書の予習・復習
8		演習	将来のことを説明する際に使う「現在進行形」を学ぶ将来のプランについて話す 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
9		演習	「目的語」の使い方を学ぶ贈り物について話す 招待する、招待に応える表現を学ぶ招待を断る理由を説明する	教科書の予習・復習
10		演習	イベントへの招待を読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
11		演習	人生の中での過去のイベントについて話す 自分の意見を述べる；自分の気持ちを相手に伝わる	教科書の予習・復習
12		演習	お祝いの言葉を学ぶ/人の気持ちを推察する表現を学ぶ 自分の認識が正しいかどうかを確認する	教科書の予習・復習
13		演習	[be going to]を復習する 買い物に行くことについて会話する プレゼンテーション	教科書の予習・復習
14		演習	「限定詞」を学ぶ 買い物習慣について話す 店内で欲しいものについて述べる物事の言い方を	教科書の予習・復習
15		演習	新しい商品の説明を読む、Vlog（ビデオブログ）のためのスクリプトを書く 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
16		演習	「数量詞」を学ぶ/一番好きな食べ物について話す キッチンカーをデザインする/「動詞型」を学ぶ	教科書の予習・復習
17		演習	レストランで頼みたいものについて説明する"I'll mean」を使い、会話を練習する ファストフード店についての記事を読む、また記事	教科書の予習・復習
18		演習	[if / when]の使い方を学ぶ 自分の町で何をするかについて話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
19		演習	[to / for]を使うて、理由を説明する過去に行った旅行について話す 「問い返し疑問文」を学ぶ	教科書の予習・復習
20		演習	海外生活についてのアドバイスを読む、書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
21		演習	「形容詞の比較級」を学ぶ お店とお店での売り物を比較する 「形容詞の最高級」を学ぶ 写真に写った人につい	教科書の予習・復習
22		演習	[I guess]を使い、意見を尋ねる、または述べる 広告を読む、また写真の説明を書く	教科書の予習・復習
23		演習	[have to]の使い方を学ぶ/職場での危険を回避することについて話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
24		演習	将来の予想を立てる表現を学ぶ健康問題について話す [It feels like (it's like)]を使い、健康問題について	教科書の予習・復習
25		演習	未来の自分へのメールを書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
26		演習	「現在完了形」を学ぶ したことがあること、ないことについて話す ソーシャルメディア（ネット）生まれの動詞を学ぶ	教科書の予習・復習
27		演習	人に頼む際に使う表現を学ぶ頼まれた際に使う表現を学ぶ インフォグラフィックを読む、セルフィーについての	教科書の予習・復習
28		演習	[be like]を使い、天気について話す プレゼンテーション	教科書の予習・復習
29		演習	「関係代名詞(who, which, that)」の使い方を学ぶ場所、人、物事を説明する 道を聞く、道順を教える際に使う表現を学ぶ言い改	教科書の予習・復習
30		演習	場所についての説明を読む、方法についての説明リストを書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名（英）	パフォーマンスⅡ	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by me の最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクトⅡ	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by me の最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	コンポジションⅡ	必修選択	必修選択	年次	2年	担当教員	常盤　大志
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	メジャーアーティストへの楽曲提供、演奏参加、レコーデイング参加						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	スタジオの仕組みを理解し基本的な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	スタジオの機能と各機材の役目を理解する。	コンソールルームと各スタジオブースのin、outの流れを把握する
2	／	実習	各種の接続ケーブルを見て役割を学ぶ。	バランス、アンバランス、パッチ、MIDI、USB、デジタル、それぞれの特性を把握する。
3	／	実習	バランスとアンバランス接続を理解する。	X、L、Rそれぞれの信号の関係性を把握する。
4	／	実習	ダイナミックマイクの構造と特徴を理解する。	SHURE 58とSHURE 57の基本的な使用法を理解し実践してみる。
5	／	実習	コンデンサーマイクの構造と特徴を理解する。	Neumann U87、AKG 414をセッティングし、マイクで拾った音を聞いてみる。
6	／	実習	リボンマイクや特殊なマイクを理解する。	それぞれのマイクを使用してサウンドの違いを確かめる。
7	／	実習	ProToolsに録音する方法を学ぶ。	セッションをセットアップし、4トラック以上、8小節以上ののオーディオトラックを作成する。
8	／	実習	DIの役割を理解する。	コンソールから＋48Vの電力を供給し、増幅されたインプットレベルを計測・確認する。
9	／	実習	マイクプリアンプの役割を理解する。	スタジオ常設のプリアンプを複数台使用し、音色の違いを確かめる。
10	／	実習	イコライザーの役割を理解する。	イコライザーの周波数帯と音の相互性を確認する
11	／	実習	コンプレッサーの役割を理解する。	Gain、threshold、ratio、Attack、releaseなどの用語と役割を覚える。
12	／	試験	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	PA と Recording の違いについて考える。	PA と Recording の違いについての見解をレポートする。
14	／	実習	ディレイについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
15	／	実習	リバーブについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
16	／	実習	SSLのパッチベイを理解する。	基本的なセッティングを理解し各自でセッティングを復習する。
17	／	実習	ヴォーカルのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
18	／	実習	ワークショップ・ヴォーカルを録音する①	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
19	／	実習	アコギでオンマイクとオフマイクを理解する。	2本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
20	／	実習	ワークショップ・楽器録音:アコギを録音する①	3本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
21	／	実習	ドラムのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルと使用するセット(楽器)を考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
22	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する①	録音するジャンルと使用するセット(楽器)を考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
23	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する②	イコライザー、コンプレッサー、リバーブなど様々なエフェクトを試してミキシングする。
24	／	実習	E.ギターの録音を考える。	ロックギターのリズムトラックを録音する。
25	／	実習	ワークショップ・楽器録音:エレキギターを録音する①	ロックギターのリードトラックを多重録音する。リズムトラックとミキシングしてみる。
26	／	実習	ベースの録音を考える。	ファンクベースの音作りを意識して録音する。
27	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ベースを録音する①	ファンクベースの音作りを意識して録音する。エフェクトを各種試してみる。
28	／	実習	ピアノのマイクセッティングを考える。	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
29	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ピアノを録音する①	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ステージ／イベントⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	佐藤晃彦
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の概要と進行を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		演習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		演習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		演習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		演習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		演習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		演習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		演習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		演習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		演習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		演習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
14		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
15		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
16		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
19		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
20		演習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
21		演習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
22		演習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		演習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		演習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
25		演習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		演習	日常のトレーニングについて③	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		演習	舞台機構演習①	タイムテーブル・平面図を理解する
28		演習	舞台機構演習②	タイムテーブル・平面図を理解する
29		演習	舞台機構演習③	タイムテーブル・平面図を理解する
30		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ステージ／イベントプロジェクトⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	齋藤　早春
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、THE SOULMATICSで活動中。コンサート、ミュージカル等多岐にわたって活動中。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	出席率70、授業態度30						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
16		演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
17		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
18		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
19		演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
20		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
21		演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
22		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
23		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
24		演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
25		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
26		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
27		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
28		演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
29		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
30		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台デザインⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	板橋　香明
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習内容	作曲(主にアレンジ)を進める上で、同時にミックスの観点からもアプローチする力を養う 自己プロデュース能力を向上させオールインワンでの完結できる実力をつける						
到達目標	ゼロから完パケ(作曲から納品、又はリリース)までの工程を、個人・グループで完結させる						
評価方法と基準	授業態度(積極性、制作能力) 課題提出率						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽曲制作時に意識すること	楽典予習
2		演習	メロディへのコード付①	楽典予習
3		演習	メロディへのコード付②	楽典予習
4		演習	裏メロの作り方	楽典予習
5		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス①	楽典予習
6		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス②	楽典予習
7		演習	ピアノアレンジ・ミックス①	楽典予習
8		演習	ピアノアレンジ・ミックス②	楽典予習
9		演習	リズムアレンジ・ミックス①	楽典予習
10		演習	リズムアレンジ・ミックス②	楽典予習
11		演習	ベースアレンジ・ミックス①	楽典予習
12		演習	ベースアレンジ・ミックス②	楽典予習
13		演習	楽曲制作ワークショップ①	楽典予習
14		演習	楽曲制作ワークショップ②	楽典予習
15		演習	楽曲制作ワークショップ③	楽典予習
16		演習	ギターアレンジ・ミックス①	楽典予習
17		演習	ギターアレンジ・ミックス②	楽典予習
18		演習	ギターアレンジ・ミックス③	楽典予習
19		演習	Fx・サンプル活用法・ミックス法	楽典予習
20		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス①□	楽典予習
21		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス②□	楽典予習
22		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス③□	楽典予習
23		演習	ストリングスアレンジ・ミックス①	楽典予習
24		演習	ストリングスアレンジ・ミックス②	楽典予習
25		演習	ストリングスアレンジ・ミックス③	楽典予習
26		演習	ストリングスアレンジ・ミックス④	楽典予習
27		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
28		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
29		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
30		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台デザイン	必修選択	選択	年次	1	担当教員	板橋　香明
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習内容	作曲(主にアレンジ)を進める上で、同時にミックスの観点からもアプローチする力を養う 自己プロデュース能力を向上させオールインワンでの完結できる実力をつける						
到達目標	ゼロから完パケ(作曲から納品、又はリリース)までの工程を、個人・グループで完結させる						
評価方法と基準	授業態度(積極性、制作能力) 課題提出率						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽曲制作時に意識すること	楽典予習
2		演習	メロディへのコード付①	楽典予習
3		演習	メロディへのコード付②	楽典予習
4		演習	裏メロの作り方	楽典予習
5		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス①	楽典予習
6		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス②	楽典予習
7		演習	ピアノアレンジ・ミックス①	楽典予習
8		演習	ピアノアレンジ・ミックス②	楽典予習
9		演習	リズムアレンジ・ミックス①	楽典予習
10		演習	リズムアレンジ・ミックス②	楽典予習
11		演習	ベースアレンジ・ミックス①	楽典予習
12		演習	ベースアレンジ・ミックス②	楽典予習
13		演習	楽曲制作ワークショップ①	楽典予習
14		演習	楽曲制作ワークショップ②	楽典予習
15		演習	楽曲制作ワークショップ③	楽典予習
16		演習	ギターアレンジ・ミックス①	楽典予習
17		演習	ギターアレンジ・ミックス②	楽典予習
18		演習	ギターアレンジ・ミックス③	楽典予習
19		演習	Fx・サンプル活用法・ミックス法	楽典予習
20		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス①□	楽典予習
21		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス②□	楽典予習
22		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス③□	楽典予習
23		演習	ストリングスアレンジ・ミックス①	楽典予習
24		演習	ストリングスアレンジ・ミックス②	楽典予習
25		演習	ストリングスアレンジ・ミックス③	楽典予習
26		演習	ストリングスアレンジ・ミックス④	楽典予習
27		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
28		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
29		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
30		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	デジタルファウンデーションⅡ	必修選択	必修選択	年次	2	担当教員	中村結花
		授業形態	講義、実習	総時間（単位）	120 8		
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ						
教員の略歴	作詞家、作編曲家としてアーティストへの楽曲提供やCM音楽などの制作に携わっている						
授業の学習内容	①DTMの基礎知識の習得 ②DAW(Cubase、Studio one、Logic)を用いての打ち込みスキルの習得 ③セルフレコーディング技術の習得 ④簡単なmixの仕方を学ぶ						
到達目標	(前期)基本的なDAWの使い方をマスターし、打ち込みから簡単なmixまでできるようになる (後期)1人1曲オリジナル楽曲を完成させる						
評価方法と基準	出席率50%、授業態度及び総合的な理解度50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	DTMとは、DAWとは何か？曲ができるまでの流れ、機材の説明から立ち上げ方、実際にいろんな音を鳴らしてみる	①自分に合うDAWを次の授業までに決めてくる ②USBメモリの準備
2		演習	Save、Rec、Undo、Redo、拡大、縮小など基本的なショートカットを覚える、コピー&ペースト、楽曲データの管理	楽曲ファイルを5つ作りUSBにバックアップしてくる
3		演習	Midiの概念、クオンタイズ、ベロシティ、デュレーション、簡単なドラムの打ち込み、編集ツールの活用	ドラム(バスドラ、スネア、ハイハット)を5パターン打ち込んでくる
4		演習	ピッチベンド、モジュレーション、エクスプレッション、サスティーンなどの基本的なCC、簡単なベースやピアノの打ち込み	前回宿題のドラム5パターンにベース、ピアノを打ち込んでくる
5		演習	サンプルやLoop素材の活用、サンプリングレートとビット深度、サンプラートラック、サブスクリプションサービスについて	①前回宿題の5パターンにループをプラスしてくる ②1パターンに最低1つのサンプルを使ってアレンジをプラスする
6		演習	各種トラックの活用方法、MixConsole、FXトラックについて、insertとsendでの違い、Reverb、Delayをかけてみる	前回宿題の曲にFXトラックを使用しReverb、Delayをかけてくる
7		演習	歌やギターのレコーディング、モノラル・ステレオ、定位について	前回宿題の曲に歌やギター、その他何かしらの素材をレコーディングしてくる
8		演習	オーディオの様々な編集、AudioWarpの使い方、VariAudioでピッチ修正を学ぶ	前回宿題のレコーディング素材を編集してくる
9		演習	書き出しとレンダリング機能の活用、ステムとパラデータの違い	前回宿題の曲をステムとパラデータで書き出してくる
10		演習	ミックスダウンとは、簡単なミックスダウンの仕方を学ぶ、EQ、Compressor、オートメーションなど	前回宿題のパラデータを並べてバランス調整、EQ、Compressorなど簡単なミックスをしてくる
11		演習	簡単なコード進行を与え、これまで学んだことを生かした楽曲制作①	後期のオリジナル製作に向けて作りたい曲のイメージを固めておく
12		演習	簡単なコード進行を与え、これまで学んだことを生かした楽曲制作②	後期のオリジナル製作に向けて作りたい曲のイメージを固めておく
13		演習	簡単なコード進行を与え、これまで学んだことを生かした楽曲制作①	後期のオリジナル製作に向けて作りたい曲のイメージを固めておく
14		演習	テスト	楽曲準備
15		演習	振り返り	
16		演習	オリジナル楽曲の制作1	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
17		演習	オリジナル楽曲の制作2	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
18		演習	オリジナル楽曲の制作3	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
19		演習	オリジナル楽曲の制作4	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
20		演習	オリジナル楽曲の制作5	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
21		演習	オリジナル楽曲の制作6	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
22		演習	オリジナル楽曲の制作7	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
23		演習	オリジナル楽曲の制作8	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
24		演習	オリジナル楽曲の制作9	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
25		演習	オリジナル楽曲の制作10	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
26		演習	オリジナル楽曲の制作11	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
27		演習	オリジナル楽曲の発表準備	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
28		演習	オリジナル楽曲の発表	オリジナル楽曲のスケジュール管理と制作
29		演習	テスト	楽曲準備
30		演習	1年間の振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マネジメントⅡ	必修選択	選択	年次	2	担当教員	菱沼　勇二
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイディアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1　新規事業とは何か？説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「インプット」と「アウトプット」説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
5		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
6		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
7		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
8		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
9		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
10		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	マネジメントプロジェクトⅡ	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員
		授業形態	演習	総時間（単位）	8 120	開講区分 曜日・時限
学科・コース	パフォーミングアーツ科					
教員の略歴	2018年より印刷会社にデザイナーとして入社。その後、メディア戦略を専門とするチームでWeb制作やディレクターを経験。20					
授業の学習内容	デザインを要するプロモーションツールなど、現場においてPCを使用し制作するデザインの基礎知識を ることで、技術面からプロモーションの重要性を理解する。 デザインの現場で多く使用されるIllustratorやPhotoshopのようなAdobe製品ツールの使用方法を学び、 のであれば就職後の現場でも使用できるレベルの制作物が作れるようになる。 また、昨今のプロモーションではWebサイトの使用が重要となるため、HTML・CSSのような基礎的なコー ログラミング言語を習得し、Webの構造を理解するとともに、簡易なWebサイトを制作できるようになる。					
到達目標	（1）デザインの基礎についての知識習得 （2）Illustrator、Photoshop、Dreamweaverの操作ができるようになる （3）HTML、CSSなどの言語を学び、簡易的なWebサイトが制作できるようになる。					
評価方法と基準	1．実技試験（%）：30% 2．筆記試験（%）：30% 3．.課題（%）：40%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学
1	／	演習	デザインの基礎知識	
2	／	演習	デザインの基礎知識　知的財産権	
3	／	演習	デザインの基礎知識　印刷について	
4	／	演習	【Photoshop】概要・基本操作1	デザイン基礎筆記テスト準備
5	／	演習	【Photoshop】基本操作2	
6	／	演習	【Photoshop】基本操作3	
7	／	演習	【Photoshop】フォトレタッチ	
8	／	演習	【Illustrator】概要・基本操作1	Photoshop筆記・実技テスト準備
9	／	演習	【Illustrator】概要・基本操作2	
10	／	演習	【Illustrator】概要・基本操作3	
11	／	演習	【Illustrator】入稿データの作成について	制作課題の設定・準備
12	／	演習	【Illustrator】ロゴマーク制作	制作課題の設定・準備
13	／	演習	【Illustrator】ロゴマーク制作	制作課題の設定・準備
14	／	演習	【Illustrator】テスト	
15	／	演習	【Illustrator】振り返り	
16	／	演習	【Web】インターネットの仕組み	Illustrator筆記・実技テスト準備

17	／	演習	【Web】Dreamweaverの使用方法	
18	／	演習	【Web】HTML5の概要と記述ルール	
19	／	演習	【Web】HTML5＋CSSを用いたサイトの構築	
20	／	演習	【Web】HTMLファイルの編集	Web基礎 筆記テスト準備
21	／	演習	【Web】表を作成する	
22	／	演習	【Web】段組み・リンク	
23	／	演習	【Web】センタリング	
24	／	演習	【Web】CSS応用	
25	／	演習	【Web】FTPソフトによるデータアップロード	制作課題の設定・準備
26	／	演習	【Web】Webコーディング総復習	制作課題の設定・準備
27	／	演習	【Web】Webコーディングツール・CMS基礎	Web基礎 筆記・実技テスト準備
28	／	演習	【Web】Webコーディングツール・CMS基礎	Web基礎 筆記・実技テスト準備
29	／	演習	【Web】テスト	
30	／	試験	【Web】振り返り	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】
必要に応じてプリント配布

鈴木　凌太

通年
木曜

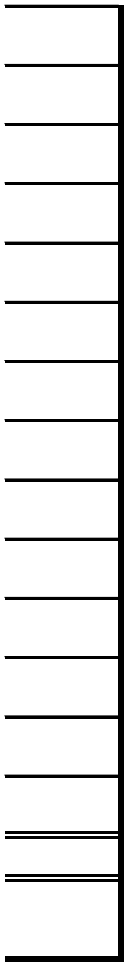
25年に独立。

身に着け

簡単なも

ディングプ

習課題）



科目名（英）	進級制作Ⅱ	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	深井　誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	300 20	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	2年生のオリジナルアルバム制作のグループメンバーとして制作作業を共同で行う 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	2年目に行う各自の各品制作に向けて、プロセス、スケジュール管理、クオリティチェックなど与えられた期間内に〆切を意識した作業工程を身につける						
評価方法と基準	1．授業内評価（%）:50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布

科目名（英）	ITⅢ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	黒瀬理知
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	Drummerの傍ら、チラシ等紙媒体Design、ホームページ運営、動画編集やシステム作りをも行う。						
授業の学習内容	仕事を行う上で必要とされるスキルがあり、ときとしてマナーやスキルにより仕事の信用を落とす事がある。昨今PCスキルが圧倒的に不足してる人がおおく、発注受注を行う段階で必要な機器、及びスキルがない為仕事が滞る事象が見受けられる。主たる仕事を行う場合でも副次的な仕事を行う場合でも、企業や対個人と仕事をするにもある程度のスキルが必要である。PC離れが進んでる今こそPCに触れる回数を増やし、仕事のやり取りをスムーズに行えるように、また仕事の幅を広げれるようになってほしい。						
到達目標	音楽に携わる人として必要なPCスキル(データでの 歌詞・セット図作成・履歴書・プロフィール(活動経 歴書)制作)やビジネスメール、基礎的な音声、動画の制作・編集スキルを学んでほしい。						
評価方法と基準	出席日数50% テスト（課題提出）50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	ITリテラシーの基礎知識を学ぶ	ITリテラシー理解度テストを行う
2	／	演習	自己紹介・PCの必要性、MACの使い方	事前にPCまたはIPADをセットアップ
3	／	演習	ラインドタッチ、プロユースのアプリケーションについ	ブラインドタッチの練習
4	／	演習	拡張子、送付方法、バックアップ	日頃つかっているデータに注視
5	／	演習	ワード系ソフトの使用方法とメール送付	ビジネスマナーを意識
6	／	演習	図形の書き方、セット図の作成、送付	生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
7	／	演習		生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
8	／	演習	表計算ソフトの使い方（計算、関数）	生活の中でデジタル化が必要なものを意識して下さい。
9	／	演習	履歴書の作成、送付	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
10	／	演習	請求書、領収書の作成	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
11	／	演習	請求書発行、領収書発行を擬似業務で行う	目の前のデータはどんな方法で作らているか考えて下さい。
12	／	演習	譜面作成ソフトの使い方	譜面作成について既存の譜面を見て予習
13	／	演習	譜面を作成し、PDF化したものを提出	譜面作成について既存の譜面を見て予習
14	／	演習	譜面を作成し、PDF化したものを提出	譜面作成について既存の譜面を見て予習
15	／	演習	テスト	
16	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
17	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
18	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
19	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
20	／	演習	印刷物入稿、画像データリサイズ等注意事項	世の中の物のサイズに注視してください。
21	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
22	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
23	／	演習	フォトショップのすべてのツールを理解、実践 自分のプロフィール写真を作る	どうやったら人の気をひけるか、ひとに伝えられるか意識して生活してください。
24	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
25	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
26	／	演習	素材のための知識（カメラ編） シャッター速度、被写界深度等設定、理解 FPS、RAW、構図、レンズ、照明等	印刷物やネット等にある写真はどのように撮られているか予想をたてておいてください。
27	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
28	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
29	／	演習	動画編集テクニック深掘り編	映像、テロップ等テレビやYOUTUBEを注視
30	／	試験	テスト	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布

科目名	キャリア教育Ⅲ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	佐藤　和樹
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校を卒業後、音楽制作会スクランブルズに入社。KAT-TUNやSixTONES初めBIsh等様々なメジャーアーティストに楽曲提供をする。						
授業の学習内容	グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マネー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。						
到達目標	人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。 また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。						
評価方法と基準	授業内評価：30% 課題：70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。	ITリテラシー冊子
2		演習	守秘義務に関する理解	ITリテラシー冊子
3		演習	デビューバンク等のデビューツールのリニューアル	デビューバンクID作成
4		演習	個人サンプル作成①	個人資料作成準備
5		演習	個人サンプル作成②	個人資料作成準備
6		演習	個人サンプル作成③	個人資料作成準備
7		演習	目標シート作成①	ステップアップシート事前記入
8		演習	目標シート作成②	ステップアップシート事前記入
9		演習	目標シート作成③	ステップアップシート事前記入
10		演習	業界講義①	企業研究
11		演習	業界講義②	企業研究
12		演習	ビジネス基礎①	配布資料確認
13		演習	ビジネス基礎②	配布資料確認
14		演習	実践ワークショップ①	復習
15		演習	実践ワークショップ①	復習
16		演習	前期実施内容の振り返り	前期配布資料整理
17		演習	業界用語①	配布資料確認
18		演習	業界用語②	配布資料確認
19		演習	業界マナー①	配布資料確認
20		演習	業界マナー②	配布資料確認
21		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
22		演習	社会人基礎力①リーダーシップについて	配布資料確認
23		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
24		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
25		演習	社会人基礎力②コンプライアンスについて	配布資料確認
26		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
27		演習	社会人応用力③お金について	配布資料確認
28		演習	社会人応用力③お金について	配布資料確認
29		演習	グループワーク	ワークシート事前記入
30		演習	実践ワークショップ	復習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	ミュージックセオリーⅢ	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	年間 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by me の最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	イヤートレーニングⅢ	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	長谷川開
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	年間 水曜2限
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2011年よりヴォーカリストとして活動開始、現在はThe Soulmaticsに在籍し、ディズニーやミュージカルでのステージ、ヴォイストレーナー等を務める。						
授業の学習内容	発声の基礎。コーラス、クワイヤでの声の使い方。パフォーマンス力の向上						
到達目標	基礎的な発声トレーニング方法の習得。アンサンブル能力。コーラスワークの技術向上						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
2	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
3	／	実習	発声練習を行う、呼吸法を理解する、Don't stop believingを練習する、ひまわりの約束を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
4	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、ひまわりの約束を練習する、世界にひとつだけの花を解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
5	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
6	／	実習	発声練習を行う、低音の発声を理解する、世界にひとつだけの花を練習する、roarを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
7	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、roarを練習する、Sing For Lifeを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
8	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
9	／	実習	発声練習を行う、声帯のストレッチを理解する、Sing for Lifeを練習する、世界で一番の奇跡を練習する	アドバイスを意識した練習を行う
10	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、世界で一番の奇跡を練習する、Singを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
11	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Singを練習するtry everythingの解説	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
12	／	実習	発声練習を行う、歌唱・発声練習について理解を深める、Sing、try everythingを練習する	アドバイスを意識した練習を行う
13	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、try everythingを練習する、ふるさとを解説する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
14	／	実習	発声練習を行う、ファルセットを理解する、ふるさとを練習する、any way you want itを解説する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
15	／	試験	Vocal Show Case発表	
16	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
17	／	実習	発声練習を行う、Stand by meとsoak up the sunの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
18	／	実習	発声練習を行う、Soak up the sunとstand by me の最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
19	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
20	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me love の発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
21	／	実習	発声練習を行う、girl friendとcan't by me loveの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
22	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,Born to be wild発音、メインメロディ、コーラス	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
23	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
24	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞を作成する、歌唱の練習を行う
25	／	実習	発声練習を行う、I feel the earth,とborn to be wildの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
26	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を解説する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の作成、歌唱の練習
27	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの発音を練習する、メインメロディ、コーラスを練習する	歌詞の意味をリサーチし、発音チェックと練習を行う
28	／	実習	発声練習を行う、Play that funky musicとReachの最終クオリティチェック、修正を行う	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	発声練習を行う、2年間学んだ全曲の振り返りを行う	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	Vocal Show Case発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	音楽史Ⅲ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	及川有正
		授業形態	講義	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 火曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	職業として音楽と関わっていくための基礎知識を学び、これまでどのようにして音楽が伝わり、楽しまれてきたのかを理解する。またその背景にある社会や政治の変化、録音技術や楽器の変化を知り、次の時代の音楽を創作していくための想像力を養う。						
到達目標	自分のお気に入りの音楽に耳を傾けるばかりではなく、様々な時代、ジャンルの音楽を知ることによって視野を広げる。　音の表現方法について、アイディアによって達成出来る世界が広がり、新たな音楽を創造する。						
評価方法と基準	授業内評価40%　定期試験 30%　レポート提出 30% ポップスの歴史の概略を説明することができる。楽曲を聴いて、時代やルーツを説明することが出来る。みずから進んで楽曲の構造や文化的意味について探求心を持つことができる。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	講義	アンケート、音楽史概観①	感想文、関連する楽曲を探す
2	／	講義	音楽史概観②	感想文、関連する楽曲を探す
3	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　①	感想文、関連する楽曲を探す
4	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　②	感想文、関連する楽曲を探す
5	／	講義	ポピュラー音楽の基本 黒人音楽　③	感想文、関連する楽曲を探す
6	／	講義	ロックンロールの誕生	感想文、関連する楽曲を探す
7	／	講義	ロックの歴史①	感想文、関連する楽曲を探す
8	／	講義	ロックの歴史②	感想文、関連する楽曲を探す
9	／	講義	ロックの歴史③	感想文、関連する楽曲を探す
10	／	講義	これまでのまとめと小論文	感想文、関連する楽曲を探す
11	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
12	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
13	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
14	／	講義	海外のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
15	／	試験		
16	／	講義	日本のポピュラーミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
17	／	講義	日本のポピュラーミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
18	／	講義	日本のポピュラーミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
19	／	講義	日本のポピュラーミュージック④	感想文、関連する楽曲を探す
20	／	講義	日本のロックミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
21	／	講義	日本のロックミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
22	／	講義	日本のロックミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
23	／	講義	日本のソウルミュージック①	感想文、関連する楽曲を探す
24	／	講義	日本のソウルミュージック②	感想文、関連する楽曲を探す
25	／	講義	日本のソウルミュージック③	感想文、関連する楽曲を探す
26	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
27	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
28	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
29	／	講義	これからの音楽シーン	感想文、関連する楽曲を探す
30	／	試験		
準備学習　時間外学習		授業内で取り上げた楽曲、アーティストに関連するものを探る		

【使用教科書・教材・参考書】 ロック＆ポップス史 洋楽編、邦楽編、CD、DVD

科目名（英）	著作権Ⅲ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	及川有正
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1981年よりプロモーターとしてジャパンレコード、ホットスタッフ・プロモーションにてピチカートVなどのアーティストを手掛ける。						
授業の学習内容	作る側　スタッフ共通のエンターテイメントの基盤にある著作権＝アーティストの権利を理解してもらう。また日々変化している状況を踏まえ、ネット中心のビビッドな話題を通して、著作権の理解を深める。各専攻によって立場の違いはあるが、どのように著作権の知識が役立つかを具体的に示す。						
到達目標	アーティスト（作曲、ダンス、アクター、プロミ）には、自分達の権利と制作していく上での注意事項を理解してもらう。コンスタには、自分の関わる仕事の根本にある出演者側の権利を理解してもらう。ネットのリテラシーを高める。（使う側の注意事項、ネットでの権利の理解）　また音楽関係のトピックを正しく理解できるよう解説していく。最終的に自分たちが、アーティストとして契約する際の知識を身につけてもらう。						
評価方法と基準	①　試験　50%　②　用語プリント　レポート　50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて学ぶ	プリント確認
2	／	演習	クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて学ぶ	プリント確認
3	／	演習	クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて学ぶ	プリント確認
4	／	演習	著作者人格権にも要注意	プリント確認
5	／	演習	著作者人格権にも要注意	プリント確認
6	／	演習	著作者人格権にも要注意	プリント確認
7	／	演習	パブリック・ライセンスについて	プリント確認
8	／	演習	パブリック・ライセンスについて	プリント確認
9	／	演習	パブリック・ライセンスについて	プリント確認
10	／	演習	自由利用により文化の発展に繋がる	プリント確認
11	／	演習	自由利用により文化の発展に繋がる	プリント確認
12	／	演習	自由利用により文化の発展に繋がる	プリント確認
13	／	演習	今後の著作権	プリント確認
14	／	演習	今後の著作権	プリント確認
15	／	演習	まとめ　試験	
16	／	演習	JASRAC以外にも権利処理が必要なケース	プリント確認
17	／	演習	JASRAC以外にも権利処理が必要なケース	プリント確認
18	／	演習	JASRAC以外にも権利処理が必要なケース	プリント確認
19	／	演習	動画投稿サイトやブログでの利用の場合	プリント確認
20	／	演習	動画投稿サイトやブログでの利用の場合	プリント確認
21	／	演習	動画投稿サイトやブログでの利用の場合	プリント確認
22	／	演習	許諾が無くても利用できる場合	プリント確認
23	／	演習	許諾が無くても利用できる場合	プリント確認
24	／	演習	許諾が無くても利用できる場合	プリント確認
25	／	演習	クラシックの曲には要注意	プリント確認
26	／	演習	JASRACに自作曲を管理してもらうには	プリント確認
27	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
28	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
29	／	演習	ワークショップ・レポート作成	プリント確認
30	／	試験	まとめ　試験	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】 音楽著作権、ORIGINAL CONFIDENCE

科目名（英）	業界専門知識	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	常盤 大志
		授業形態	実習	総時間（単位）	60 2	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	メジャーアーティストへの楽曲提供、演奏参加、レコーデイング参加						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	スタジオの仕組みを理解し基本的な録音ができるようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	スタジオの機能と各機材の役目を理解する。	コンソールルームと各スタジオブースのin、outの流れを把握する
2	／	実習	各種の接続ケーブルを見て役割を学ぶ。	バランス、アンバランス、パッチ、MIDI、USB、デジタル、それぞれの特性を把握する。
3	／	実習	バランスとアンバランス接続を理解する。	X、L、Rそれぞれの信号の関係性を把握する。
4	／	実習	ダイナミックマイクの構造と特徴を理解する。	SHURE 58とSHURE 57の基本的な使用法を理解し実践してみる。
5	／	実習	コンデンサーマイクの構造と特徴を理解する。	Neumann U87、AKG 414をセッティングし、マイクで拾った音を聞いてみる。
6	／	実習	リボンマイクや特殊なマイクを理解する。	それぞれのマイクを使用してサウンドの違いを確かめる。
7	／	実習	ProToolsに録音する方法を学ぶ。	セッションをセットアップし、4トラック以上、8小節以上ののオーディオトラックを作成する。
8	／	実習	DIの役割を理解する。	コンソールから＋48Vの電力を供給し、増幅されたインプットレベルを計測・確認する。
9	／	実習	マイクプリアンプの役割を理解する。	スタジオ常設のプリアンプを複数台使用し、音色の違いを確かめる。
10	／	実習	イコライザーの役割を理解する。	イコライザーの周波数帯と音の相互性を確認する
11	／	実習	コンプレッサーの役割を理解する。	Gain、threshold、ratio、Attack、releaseなどの用語と役割を覚える。
12	／	試験	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	PA と Recording の違いについて考える。	PA と Recording の違いについての見解をレポートする。
14	／	実習	ディレイについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
15	／	実習	リバーブについて理解する。	録音時、ミキシング時の基本的な使い方を実践してみる。
16	／	実習	SSLのパッチベイを理解する。	基本的なセッティングを理解し各自でセッティングを復習する。
17	／	実習	ヴォーカルのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
18	／	実習	ワークショップ・ヴォーカルを録音する①	録音するジャンルとシンガーのタイプを考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
19	／	実習	アコギでオンマイクとオフマイクを理解する。	2本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
20	／	実習	ワークショップ・楽器録音:アコギを録音する①	3本のマイクを立ててサウンドを比較し、ミキシングやフェイズなどを試して音質を確かめる。
21	／	実習	ドラムのマイクセッティングを考える。	録音するジャンルと使用するセット(楽器)を考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
22	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する①	録音するジャンルと使用するセット(楽器)を考えて使用するマイクを選定し録音を実践する。
23	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ドラムを録音する②	イコライザー、コンプレッサー、リバーブなど様々なエフェクトを試してミキシングする。
24	／	実習	E.ギターの録音を考える。	ロックギターのリズムトラックを録音する。
25	／	実習	ワークショップ・楽器録音:エレキギターを録音する①	ロックギターのリードトラックを多重録音する。リズムトラックとミキシングしてみる。
26	／	実習	ベースの録音を考える。	ファンクベースの音作りを意識して録音する。
27	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ベースを録音する①	ファンクベースの音作りを意識して録音する。エフェクトを各種試してみる。
28	／	実習	ピアノのマイクセッティングを考える。	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
29	／	実習	ワークショップ・楽器録音:ピアノを録音する①	アップライトピアノを使用してソロピアノを録音する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	グローバルコミュニケーションⅢ	必修選択	必修	年次	3	担当教員	MARK ZOLOTAR
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 土曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2013年カナダビクトリア大学修士課程修了、その後日本の英会話教室、専門学校等でこどもから大人までの英語授業を担当。 2018年英会話教室を開業(CEO)、現在は自身の英会話教室と合わせて、ILCに所属する英会話講師。						
授業の学習内容	将来、多国籍の人々と仕事をするために、自身の考えを相手に伝え、相手の言葉も理解する「グローバルマインド」と「コミュニケーション力」を兼ね備える。 総合的な英語力①Listening（リスニング力）②Writing （筆記力）③Reading（読解力）④Speaking（会話力）を身につける。						
到達目標	英語の4技能を統合的に学び、興味関心のあることについての簡単な文章の読み書き、また買い物やその他の日常生活についての平易な会話ができるようになる。						
評価方法と基準	定期試験(全4回) 100% CEFR Level A2						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	[WH-question]を使って相手の性格について尋ねる会話を練習する 「間接疑問文」を使って、人に質問をする、	教科書の予習・復習
2		演習	自己紹介と他己紹介に関する会話を練習する 誰かと知り合いになるためのメールを書く	教科書の予習・復習
3		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「良いリーダーになるために必要なこと」 現在進行形を使って持ち物について話す	教科書の予習・復習
4		演習	現在完了形を使って持ち物やその機能などについて話す 聞き返しの表現や話題を変える際の表現を使って	教科書の予習・復習
5		演習	欲しいものについての広告を書く ロールプレイ・プレゼンテーション「出かける時の持ち物について」	教科書の予習・復習
6		演習	冠詞に注意しながら、自分の町について尋ねる、また質問に答える練習をする [would/could/should]を使って、他の場所への生き	教科書の予習・復習
7		演習	建物内の道案内の場面での会話を練習する 求人に対して志望動機を書く	教科書の予習・復習
8		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分の町の人気な場所についてプレゼンをする」 [be going to/will]を使って、週末の予定について話	教科書の予習・復習
9		演習	[be going to/will]を使って、旅行の計画について話す 心配や不安になる状況での会話を練習する	教科書の予習・復習
10		演習	イベント内容やスケジュールについての情報を伝えるメールを書く ロールプレイ・プレゼンテーション「さまざまな人に異	教科書の予習・復習
11		演習	単純過去形を使って、失くしたものや、見つけたものについて話す 単純過去形、過去進行形を使って、助けが必要に	教科書の予習・復習
12		演習	驚いたできごとについて話す 短い物語を書く	教科書の予習・復習
13		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「おもしろい、驚くストーリー」 数量詞を使って、都会の問題について話す	教科書の予習・復習
14		演習	現在・未来の条件節を使って、問題と解決策について話す [though]を使って反対意見を述べる練習をする	教科書の予習・復習
15		演習	価値観についてのネット投稿に対し、自分のコメント（考え）を書く プレゼンテーション	教科書の予習・復習
16		演習	[used to]を使って音楽についての好みの変化について話す 比較の表現を使って、TV番組や映画について話す	教科書の予習・復習
17		演習	誘いを断る必要がある場面での会話を練習する 映画のレビューを書く	教科書の予習・復習
18		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「メディアやエンターテイメントにおける好みの違い」 現在完了進行形を使って、最近していることについ	教科書の予習・復習
19		演習	現在完了形や現在完了進行形を使って、物事の進捗について話す 他人のアドバイスについて、自分の意見を述べ	教科書の予習・復習
20		演習	タイムマネジメントについての投稿を書く ロールプレイ・プレゼンテーション「時間を有効に使う方法」	教科書の予習・復習
21		演習	助詞[have to, need to, must]を使って、大学や学校で学ぶ科目について話す 助詞[can't, must not]を使って、在宅勤務・自宅学	教科書の予習・復習
22		演習	心配していること（自身がないこと）、自身があることについて話す 自分の履歴書について、要点を書く	教科書の予習・復習
23		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「自分に合った完璧な仕事をデザインする」 商品の素材や材料について話す	教科書の予習・復習
24		演習	商品の生産地について話す 買いたいものについて話す、理由を尋ねる練習をする	教科書の予習・復習
25		演習	商品に関するレビューを書く ロールプレイ・プレゼンテーション「商品のCMを作成する」	教科書の予習・復習
26		演習	句動詞[work out, set up, など]を使って、成功の秘訣について話す 現在・未来の条件文を使って、想像上のチャレンジ	教科書の予習・復習
27		演習	意見を述べる、了承を求める練習をする 自身の身に起きた出来事について書く。	教科書の予習・復習
28		演習	ロールプレイ・プレゼンテーション「憧れの人について」 事故について話す	教科書の予習・復習
29		演習	体験した極端な出来事について話す ある出来事に関する、自身の感情、気持ちを話す	教科書の予習・復習
30		演習	教訓となった出来事と学んだことについて書く プレゼンテーション 定期試験/振り返り	教科書の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	パフォーマンス損	必修選択	選択	年次	3	担当教員	森谷 諭
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	月曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナーとして、音楽雑誌への寄稿や現役プロへの指導、専門学校講師を務める						
授業の学習内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されている Ableton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。 また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、 セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	Ableton Live(DAW)や Pushでの制作について	事前配布資料にによる学習
2		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料にによる学習
3		演習	サンプル音源のトラックメイク	事前配布資料にによる学習
4		演習	サンプル音源の加工□	事前配布資料にによる学習
5		演習	サンプル音源の加工□	事前配布資料にによる学習
6		演習	サンプル音源の加工□	事前配布資料にによる学習
7		演習	様々なリズムワークを知る	事前配布資料にによる学習
8		演習	Spotify等を使用し様々なジャンルをアーティストで解説	事前配布資料にによる学習
9		演習	事前配布資料にによる学習	事前配布資料にによる学習
10		演習	マイクを使い環境音等のRECの仕方を解説	事前配布資料にによる学習
11		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectを解説□	事前配布資料にによる学習
12		演習	事前配布資料にによる学習	事前配布資料にによる学習
13		演習	残作業	残作業
14		演習	残作業	残作業
15		演習	試験対策	試験対策
16		演習	Pushでの打ち込みやライブセッションの確認	事前配布資料にによる学習
17		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料にによる学習
18		演習	サンプルを使用しリズムを打ち込んでいく	事前配布資料にによる学習
19		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく□	事前配布資料にによる学習
20		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく□	事前配布資料にによる学習
21		演習	サンプルを使用し上物を打ち込んでいく□	事前配布資料にによる学習
22		演習	Ableton Live(DAW)中でEffectの操作	事前配布資料にによる学習
23		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料にによる学習
24		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料にによる学習
25		演習	ハードプラグインを使用しミキシングを行う	事前配布資料にによる学習
26		演習	ハードプラグインを使用しマスタリングを行う	事前配布資料にによる学習
27		演習	事前配布資料にによる学習	事前配布資料にによる学習
28		演習	残作業	残作業
29		演習	残作業	残作業
30		演習	定期試験	試験対策
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	パフォーマンスプロジェクトⅢ	必修選択	必修選択	年次	3年	担当教員	川村浩之
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	30歳で劇団を立ち上げ、出演・演出・制作を手掛ける。宮内洋アクションチームに所属しアクションを学ぶ。33歳から映像ディレクターとして長澤まさみ、小倉優子などのPV、CM、映画、テレビ番組、企業ビデオ、YouTube動画などの制作・撮影・編集など手がける。						
授業の学習内容	演技には種類があって、大別すると舞台で行われる連続した遠くの人に届ける演技と、映像で行われる細切れでリアル、距離、表情などを重視した演技があります。 特に映像演技においては細かい役のディテールや演技プランが必要になります。 この授業を受けることで、舞台演技と映像演技の違いを把握し、映像の現場に出たときに即対応できるスキルを養います。						
到達目標	①役作りが出来る ②撮影順が前後する場合の演技の作り方が出来る ③リアルなトーンでのセリフが言えるようになる ④自然な動きの感じがわかる ⑤カメラ前での演技が出来る						
評価方法と基準	授業内評価60% 課題達成率20% 発表会20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	授業の進め方の説明 映像演技と舞台演技の違いがわかる	
2	／	実習	生い立ちシートの正しい書き方がわかる 役作りについて	
3	／	実習	役作りの発表 役作りの正しいやり方がわかる。	次回までに家で台本を5回以上読む
4	／	実習	シーンの読みと動き	家で役作りを考えてくる
5	／	実習	実際の撮影① シーンA 台本順と撮影順の違いがわかる。	
6	／	実習	実際の撮影② シーンA	
7	／	実習	実際の撮影③ シーンA	
8	／	実習	実際の撮影④ シーンB	
9	／	実習	実際の撮影⑤ シーンB	
10	／	実習	実際の撮影⑥ シーンC 映像の世界では欠かせない消えものを使って撮影	
11	／	実習	実際の撮影⑦ シーンC	
12	／	実習	実際の撮影⑧ シーンC	
13	／	実習	編集作業	
14	／	実習	編集作業	
15	／	試験	振り返り	
16	／	実習	30秒仮想CMの絵コンテ制作 それぞれが監督と主演を経験する	出来なかった分は家で仕上げてくる
17	／	実習	30秒仮装CMの絵コンテチェック・修正	撮影準備（小道具や衣装、撮影場所を決める）
18	／	実習	30秒仮装CM撮影	
19	／	実習	30秒仮装CM撮影	
20	／	実習	別台本で、小道具を使った演技を学ぶ。	自分の演技の確認
21	／	実習	別台本で、小道具を使った演技を学ぶ。	グルや撮られ方、何回か同じ演技をする感覚を掴む
22	／	実習	別台本で、小道具を使った演技を学ぶ。 細かい役作りが出来ない役での対応の仕方を学ぶ	細かい役作りが出来ない役での対応の仕方を学ぶ 自分の演技の確認
23	／	実習	別台本で、小道具を使った演技を学ぶ。	細かい役作りが出来ない役での対応の仕方を学ぶ 自分の演技の確認
24	／	実習	映像からプロの演技を学ぶ	自分の想像力をどこまで演技に出せるかを学ぶ①
25	／	実習	別台本で、酔った演技を体感する。	
26	／	実習	別台本で、酔った演技を体感する。	自分の想像力をどこまで演技に出せるかを学ぶ②
27	／	実習	別台本で、酔った演技を体感する。	自分の想像力をどこまで演技に出せるかを学ぶ③
28	／	実習	実践	アドバイスを意識した練習を行う
29	／	実習	実践	アドバイスを意識した練習を行う
30	／	試験	テスト作品発表	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	コンポジションⅢ	必修選択	必修選択	年次	3	担当教員	常盤 大志
		授業形態	実習	総時間（単位）	120 4	開講区分 曜日・時限	通年 月曜
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	2003年よりレコーディングエンジニアとしてMonkeymajik等のアーティストを担当、現在はプロデューサーとしてアーティスト育成も行う						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	／	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	／	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	／	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	／	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	／	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	／	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	／	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	／	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	／	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	／	実習	DI と リアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	／	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	ディレイ遅延を軽減させる手法とマシンスペック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	／	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	／	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	／	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	／	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	／	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的の応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	／	実習	M―Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L-R/R-L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	／	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	／	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ステージ／イベントⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤晃彦
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金③
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する						
授業の学習内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	授業の概要と進行を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		演習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		演習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		演習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		演習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		演習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		演習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		演習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		演習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		演習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		演習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
14		演習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
15		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
16		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
17		演習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		演習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
19		演習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
20		演習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
21		演習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
22		演習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		演習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		演習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
25		演習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		演習	日常のトレーニングについて③	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		演習	舞台機構演習①	タイムテーブル・平面図を理解する
28		演習	舞台機構演習②	タイムテーブル・平面図を理解する
29		演習	舞台機構演習③	タイムテーブル・平面図を理解する
30		演習	筆記試験による理解度テスト	資料確認
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ステージ／イベントプロジェクトⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	齋藤　早春
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 木曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、THE SOULMATICSで活動中。コンサート、ミュージカル等多岐にわたって活動中。						
授業の学習内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル（黒人霊歌）のコンテンポラリーゴスペル（近代的なゴスペル）を中心に、オーセンティック（本格的）なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グルーブ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP（神経言語プログラミング）、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」 それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	出席率70、授業態度30						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		演習	楽曲復習、ケィティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
16		演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
17		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
18		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
19		演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
20		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
21		演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
22		演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
23		演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
24		演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
25		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
26		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
27		演習	We Areリハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
28		演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
29		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
30		演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台デザインⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤晃彦
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	1978年より音響やローディーなどの仕事に関わり、舞台監督としてREBECCA、THE BOOM、Char、中森明菜等のコンサートを制作する。						
授業の学習内容	コンサート現場での専門用語、しきたり、ルールなどを学び、即戦力として通用する知識を養う。						
到達目標	コンサート運営に必要な段取りを知り、タイムテーブル、舞台図面の内容を把握出来るようにする。						
評価方法と基準	定期試験 70%、授業内評価 30% 専門用語を使いこなせる						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		実習	授業の概要と進行を解説する	授業及び実習に必要な準備物を確認する
2		実習	音楽業界で働く人の意識について学ぶ	事例・歴史を参考に日本の音楽業界の変遷について考える
3		実習	コンサートをつくるための様々な仕事を学ぶ	授業で学んだ職種を復習し、自分の興味のある仕事を見出す
4		実習	コンサートスタッフの一日を学ぶ	本番の現場をはじめ、準備段階での業務などを復習する
5		実習	コンサート会場の種類を学ぶ	授業で学んだ会場を復習し、身近にある開場を見つけてみる
6		実習	コンサート制作で作成される書類を学ぶ	参考書類を参考にテンプレートを作成する
7		実習	舞台平面図を理解する①	縮尺や用語を復習し、覚える
8		実習	舞台平面図を理解する②	バトンや幕の役割を覚える
9		実習	野外コンサートの平面図を学ぶ	仮説ステージの基本的なつくりを理解する
10		実習	タイムテーブルを理解する	タイムテーブルを参考に各業種の仕事の流れを復習する
11		実習	舞台平面図とタイムテーブルを関連づける	時間ごとにシーンが変わるという概念を理解し、転換の時間配分を考える
12		実習	タイムテーブルの作成を学ぶ	全数を参考に1日完結のイベントをシミュレーションしてみる
13		実習	筆記試験による理解度テスト	
14		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を体験する
15		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を体験する
16		実習	舞台機構実習を行う③野外フェス	タイムテーブル・平面図を理解し、転換の仕事を体験する
17		実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ①	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
18		実習	イベント参加者のチョイスの基準を学ぶ②	アーティスト、料金、会場、演出、グッズなど実例を参考に復習する
19		実習	イベント実施にあたっての準備を学ぶ	前週までを参考に集客の基本を考える
20		実習	イベント実施までの制作作業について学ぶ	演者、会場、プロモーションなど全ての要素について考える
21		実習	イベント運営時の作業について学ぶ	制作というセクションについて必要な要素を考える
22		実習	イベント企画について学ぶ①	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
23		実習	イベント企画について学ぶ②	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
24		実習	イベント企画について学ぶ③	企画書をゼロから作成し、様々な視点からシミュレーションする
25		実習	日常のトレーニングについて①	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
26		実習	日常のトレーニングについて②	スキルを身に着けるための考え方と具体的な方法について考える
27		試験	筆記試験による理解度テスト	
28		実習	舞台機構実習を行う①学校ホール	卒業進級展を運営し、1年間の総括を行う
29		実習	舞台機構実習を行う②ライブハウス	卒業進級展を運営し、2年間の総括を行う
30		実習	舞台機構実習を行う③ライブハウス	卒業進級展を運営し、3年間の総括を行う
準備学習　時間外学習			授業で学んだものを実習に活用できるように整理する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	デジタルファウンデーションⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	板橋　香明
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	専門学校卒業後、アニメ・劇伴楽曲の制作を担当						
授業の学習内容	作曲(主にアレンジ)を進める上で、同時にミックスの観点からもアプローチする力を養う 自己プロデュース能力を向上させオールインワンでの完結できる実力をつける						
到達目標	ゼロから完パケ(作曲から納品、又はリリース)までの工程を、個人・グループで完結させる						
評価方法と基準	授業態度(積極性、制作能力) 課題提出率						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	楽曲制作時に意識すること	楽典予習
2		演習	メロディへのコード付①	楽典予習
3		演習	メロディへのコード付②	楽典予習
4		演習	裏メロの作り方	楽典予習
5		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス①	楽典予習
6		演習	コーラスワーク・ハモリ・ミックス②	楽典予習
7		演習	ピアノアレンジ・ミックス①	楽典予習
8		演習	ピアノアレンジ・ミックス②	楽典予習
9		演習	リズムアレンジ・ミックス①	楽典予習
10		演習	リズムアレンジ・ミックス②	楽典予習
11		演習	ベースアレンジ・ミックス①	楽典予習
12		演習	ベースアレンジ・ミックス②	楽典予習
13		演習	楽曲制作ワークショップ①	楽典予習
14		演習	楽曲制作ワークショップ②	楽典予習
15		演習	楽曲制作ワークショップ③	楽典予習
16		演習	ギターアレンジ・ミックス①	楽典予習
17		演習	ギターアレンジ・ミックス②	楽典予習
18		演習	ギターアレンジ・ミックス③	楽典予習
19		演習	Fx・サンプル活用法・ミックス法	楽典予習
20		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス①□	楽典予習
21		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス②□	楽典予習
22		演習	シンセサイザーアレンジ・ミックス③□	楽典予習
23		演習	ストリングスアレンジ・ミックス①	楽典予習
24		演習	ストリングスアレンジ・ミックス②	楽典予習
25		演習	ストリングスアレンジ・ミックス③	楽典予習
26		演習	ストリングスアレンジ・ミックス④	楽典予習
27		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
28		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
29		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
30		演習	イントロの作り方・トータルのミックス	楽典予習
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マネジメントⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	菱沼　勇二
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 4	開講区分 曜日・時限	通年 水曜
学科・ｺｰｽ	スーパーeエンターテイメント科						
教員の略歴	パフォーマンスグループ合同会社白Aのディレクターとして各種イベントのプロデュース・マネジメントを行う						
授業の学習内容	新規事業を生み出すための企画力、発想力、プレゼン力を講義と実技の両面から鍛える。						
到達目標	企画した事業の実施。						
評価方法と基準	事業の企画書、実施した事業のクオリティ、スピード、マーケティング、アイディアの4部門を評価。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1		演習	0 to 1　新規事業とは何か？説明	事前配布テキスト参照
2		演習	「ブレインストーミング」集団発想法の説明、実践	事前配布テキスト参照
3		演習	「マーケティング」成功する戦略を立てる方法	事前配布テキスト参照
4		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
5		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
6		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
7		演習	「言語化」ネーミングとコピーライティング	事前配布テキスト参照
8		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように①	事前配布テキスト参照
9		演習	「企画書」制作。眺めてるだけで頭に入るように②	事前配布テキスト参照
10		演習	「プレゼンテーション」。会話するようなプレゼン。	事前配布テキスト参照
11		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
12		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
13		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
14		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
15		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
16		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
17		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
18		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
19		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
20		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
21		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
22		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
23		演習	「新規事業」開発演習①	事前配布テキスト参照
24		演習	「新規事業」開発演習②	事前配布テキスト参照
25		演習	「新規事業」開発演習③	事前配布テキスト参照
26		演習	「新規事業」開発演習④	事前配布テキスト参照
27		演習	「新規事業」開発演習⑤	事前配布テキスト参照
28		演習	「新規事業」開発演習⑥	事前配布テキスト参照
29		演習	プレゼンテーション	事前配布テキスト参照
30		演習	振り返り	事前配布テキスト参照
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	マネジメントプロジェクトⅢ	必修選択	選択	年次	3	担当教員	深井 誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	120 8	開講区分 曜日・時限	通年 金曜
学科・ｺｰｽ	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	スタジオ内の各種機材を使用しコンピューターを使用した録音作業を実践し学習する。						
到達目標	一般的な録音作業を理解し実践出来るようになる。						
評価方法と基準	実技60%・授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	実習	ProToolsの初期設定を理解する。	各種音質設定をサンプルを参考に比較する。
2	／	実習	ProToolsの各種トラックを理解する。	オーディオ、MIDI、ビデオトラックなどを複合したセッションを作成してみる。
3	／	実習	タイムコードとクロックを理解する。	MIDI機器を複数台リンクして同期を試してみる。
4	／	実習	ステレオマイクセッティングを理解する。	ステレオマイクを設置して録音し、モノラルとの違いを比較する。
5	／	実習	実践的なEQの使い方を考える。	ドラムの録音にイコライザーを使用してみる。
6	／	実習	実践的なコンプレッサーの使い方を考える。	ドラムの録音にコンプレッサーを使用してみる。
7	／	実習	実践的なディレイの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にディレイを使用してみる。
8	／	実習	実践的なリバーブの使い方を考える。	ヴォーカルの録音にリバーブを使用してみる。
9	／	実習	HAの使い方を考える。	ミキサー内蔵のマイクプリアンプや外付けタイプの機種など特徴を覚える。
10	／	実習	トランスの役割を理解する。	スタジオ内の電源口の電圧の違いと、115Vの用途を把握する。
11	／	実習	DI と リアンプ を理解する。	リアンプ時の出力レベル範囲を把握し、実際に音を録音して試聴する。
12	／	実習	これまでの理解を確かめ再確認する。	
13	／	実習	実音とデジタルのレーテンシーを考察する。	ディレイ(遅延)を軽減させる手法とマシンスペック・パワーのバランスを各機で試してみる。
14	／	実習	デジタルとアナログの接続ケーブルを学ぶ。	アナログ接続ケーブルのメーカー、グレード、長さなど複数試して違いを確かめる。
15	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
16	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
17	／	実習	ProTools のデジタル接続を理解する。	PC、インターフェース、ミキサーの間でデジタル使用による音質の違いを確かめる。
18	／	実習	マルチコンプレッサーを理解する。	プラグインを利用して帯域ごとにGAINを調節して音色を確認する。
19	／	実習	アナログレコーダーを理解する。	アナログの音質の長所、短所とテープを扱う上での注意点を把握する。
20	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
21	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
22	／	実習	ProTools のバウンスを理解する。	仕事内容、目的の応じて作成するファイル形式が異なる事を復習し、把握する。
23	／	実習	M−Sマトリックスを学ぶ。	ステレオ信号を、Mid成分(L+R)とSide成分(L−R/R−L)の3チャンネルに分けてMIXしてみる。
24	／	実習	マスタリングについて理解する。	サンプルセッションを使用してマスタリングを完成させる。
25	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
26	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
27	／	実習	PCM録音と1Bit録音について理解する。	1bit録音で作成された音源を視聴し、音質を確かめる。
28	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
29	／	実習	ワークショップ：録音実習を行う。	前週までで学んだ知識を活用してデモ音源を作成する。
30	／	試験	一年間の理解を確かめ再確認する。	
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名（英）	卒業制作	必修選択	必修	年次	3年	担当教員	深井　誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	300 20	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	作曲クラスとコラボレーションして、業界にリクルーティングをする為のオリジナル作品を各自作成する 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	グループワークで1枚40分以上ある音楽アルバムを作成し、卒業進級展にて業界各企業にプレゼンテーションを行う						
評価方法と基準	1．授業内評価（%）:50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習　時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名（英）	インターンシップ Ⅰ	必修選択	必修	年次	2年	担当教員	深井　誠
		授業形態	演習	総時間（単位）	180 6	開講区分 曜日・時限	集中
学科・コース	パフォーミングアーツ科						
教員の略歴	アーティストへの楽曲提供の他・CM・劇伴の楽曲アレンジを担当						
授業の学習内容	2年生のオリジナルアルバム制作のグループメンバーとして制作作業を共同で行う 作詞・作曲・レコーディング・ミキシング・マスタリングなど						
到達目標	2年目に行う各自の各品制作に向けて、プロセス、スケジュール管理、クオリティチェックなど与えられた期間内に〆切を意識した作業工程を身につける						
評価方法と基準	1．授業内評価（%）:50% 2．筆記試験（%）：0% 3．.課題（%）：50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	グループ編成・ミーティングを行う
2	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
3	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
4	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
5	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
6	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	楽曲制作を行う
7	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
8	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
9	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
10	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	レコーディングを行う
11	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
12	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
13	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	ミキシング・マスタリングを行う
14	／	演習	アルバム制作プロジェクトを行う	プレゼンテーションリハーサルを行う
15	／	演習	卒業進級展で発表する	企業プレゼンテーション本番を行う
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

必要に応じてプリント配布